

**「第4次安城市男女共同参画プラン」
施策状況調査シート（総括）**

令和5年3月
市民協働課

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	1	男女平等意識の促進	担当所属	アンフォーレ課			
施策	(1)	男女共同参画に関する啓発活動の展開					
取組	男女共同参画に関する図書・DVD等の収集、貸出						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具 体的 な 内 容	1	男女共同参画に関する図書や関連雑誌、DVDなどを収集・整備し、貸出を行うことで、市民・団体等の自主的な学習を支援する。					
	指標	女性関連資料の蔵書冊数					2,650冊
指標実績		2,364冊	2,464冊	2,510冊	2,622冊	2,641冊	
D 施策 の 実 績		女性関連図書の充実に努めた。 H31.3.31現在の女性関連図書数=2,364冊(H30.3.2,276冊)(内訳) ・367(家庭問題全般)=315冊 ・367.0(女性問題全集等)=68冊 ・367.1(女性運動・女性論等)=65冊 ・367.2(女性史等)=765冊 ・367.3(家族関係等)=736冊 ・367.4(婚姻・離婚問題等)=253冊 ・A367(女性関連郷土資料)=159冊 ・AV資料=3枚 上記、女性関連図書の利用に努めた。男女共同参画の総合情報誌『共同参画』(内閣府・編集/発行、月刊、寄贈)や男性育児雑誌『FQJAPAN』(季刊)を購入し利用に供している。平成30年度に117冊の図書の購入等を行った。	女性関連図書の充実に努めた。 R2.3.31現在の女性関連図書数=2,464冊(H30.3.2,364冊)(内訳) ・367(家庭問題全般)=322冊 ・367.0(女性問題全集等)=67冊 ・367.1(女性運動・女性論等)=89冊 ・367.2(女性史等)=789冊 ・367.3(家族関係等)=762冊 ・367.4(婚姻・離婚問題等)=266冊 ・A367(女性関連郷土資料)=164冊 ・AV資料=5点 上記、女性関連図書の利用に努めた。男女共同参画の総合情報誌『共同参画』(内閣府・編集/発行、月刊、寄贈)や男性育児雑誌『FQJAPAN』(季刊)を購入し利用に供している。平成31年度に141冊の図書の購入等を行った。	女性関連図書の充実に努めた。 R3.3.31現在の女性関連図書数=2,510冊(内訳) ・367(家庭問題全般)=331冊 ・367.0(女性問題全集等)=66冊 ・367.1(女性運動・女性論等)=110冊 ・367.2(女性史等)=797冊 ・367.3(家族関係等)=770冊 ・367.4(婚姻・離婚問題等)=265冊 ・A367(女性関連郷土資料)=165冊 ・AV資料=6点 上記、女性関連図書の利用に努めた。男女共同参画の総合情報誌『共同参画』(内閣府・編集/発行、月刊、寄贈)や男性育児雑誌『FQJAPAN』(季刊)を購入し利用に供している。令和2年度に115冊の図書の購入等を行った。	女性関連図書の充実に努めた。 R4.3.31現在の女性関連図書数=2,622冊(内訳) ・367(家庭問題全般)=370冊 ・367.0(女性問題全集等)=65冊 ・367.1(女性運動・女性論等)=132冊 ・367.2(女性史等)=830冊 ・367.3(家族関係等)=783冊 ・367.4(婚姻・離婚問題等)=265冊 ・A367(女性関連郷土資料)=171冊 ・AV資料=6点 上記、女性関連図書の利用に努めた。男女共同参画の総合情報誌『共同参画』(内閣府・編集/発行、月刊、寄贈)や男性育児雑誌『FQJAPAN』(季刊)を購入し利用に供している。令和3年度に146冊の図書の購入等を行った。	女性関連図書の充実に努めた。 R5.3.31現在の女性関連図書数=2,411冊(内訳) ・367(家庭問題全般)=397冊 ・367.0(女性問題全集等)=64冊 ・367.1(女性運動・女性論等)=142冊 ・367.2(女性史等)=841冊 ・367.3(家族関係等)=756冊 ・367.4(婚姻・離婚問題等)=253冊 ・A367(女性関連郷土資料)=179冊 ・AV資料=6点 ・電子書籍=3点 上記、女性関連図書の利用に努めた。男女共同参画の総合情報誌『共同参画』(内閣府・編集/発行、月刊、寄贈)や男性育児雑誌『FQJAPAN』(季刊)を購入し利用に供している。令和4年度12月までに107冊の図書の購入等を行った。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	女性関連の図書や関連雑誌、DVDなどの収集・整備に努めることで、市民・団体等の自主的な学習を支援する事ができた。					
C 総評から見えてきた課題	関連図書の充実だけでなく、たくさんの市民が集まる図書館で情報発信を行う事で、より多くの市民に男女共同参画の理解と関心を高めることができるのではないか。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
(継続の場合) R6~10に実行していく具体的な施策方針	男女共同参画週間に図書情報館内の展示コーナーで男女共同参画の展示をするなど、男女共同参画に関する担当部署と連携して市民に情報発信を行い、男女共同参画の理解と関心を高める事業を実施する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	1	男女平等意識の促進	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	男女共同参画に関する啓発活動の展開					
取組	男女共同参画に関する情報発信の充実						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	2 男女共同参画に関する情報誌の発行、広報紙・ホームページへ記事を掲載する。					
	指標	情報誌の年間発行回数	→				2回
D	指標実績	2回	2回	2回	2回	2回	
	施策の実績	<p>2回(10月、2月)情報誌を発行し、「LGBT」や「絵本や教科書からみる男女共同参画」など身近な男女共同参画について記事を掲載した。情報誌は、公共施設にて配布するだけでなく、イベント開催時での配布、市公式ウェブサイトに掲載し、広報紙に情報誌発行の記事を掲載し広く市民へ啓発した。広報あじょう7/15号に男女共同参画の特集記事を掲載し、第4次プランの紹介や「LGBT」「女性活躍推進」のPRをした。</p> <p>2回(10月、2月)情報誌を発行。コミニカルやアニメなどからみる男性像・女性像の変化についてや、家事や育児に関する若い男性の座談会を開催した記事を掲載。公共施設にて配布するだけでなく、イベント開催時にも配布。市公式ウェブサイト、広報紙にも掲載し、広く市民へ啓発した。</p> <p>2回(10月、2月)情報誌を発行。新型コロナウイルス感染拡大をうけて、緊急事態宣言中の新しい生活様式での働き方、学び方の変化についてアンケートを実施し掲載。公共施設にて配布するだけでなく、市公式ウェブサイト、広報紙にも掲載し、広く市民へ啓発した。</p> <p>2回(9月、2月)情報誌を発行。小中学校対象に行ったスポーツとジェンダーに関するアンケート結果や、生理の貧困、中学生が作成したジェンダー平等啓発ポスターを掲載した。公共施設にて配布するだけでなく、市公式ウェブサイト、広報紙にも掲載し、広く市民へ啓発した。</p> <p>2回(9月、2月)情報誌を発行。子育てに関する国際意識調査や産後/パパ育休の説明、子育て世代の活躍する女性のインタビューを掲載した。公共施設にて配布するだけでなく、市公式ウェブサイト、広報紙にも掲載し、広く市民へ啓発した。</p>					

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	情報誌や広報、市公式ウェブサイトに様々な内容の記事を掲載することによって、男女共同参画の啓発を行うことができた。					
C 総評から見えてきた課題	公共施設で配布していることが分かりにくく、認知度が低いため多くの人に広める必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、幅広い世代が興味を持つような男女共同参画に関する内容の情報誌を市民団体等と協働して発行する。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	1	男女平等意識の促進	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	男女共同参画に関する啓発活動の展開					
取組	男女共同参画イベントの開催						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容	3	市民活動団体と市が協働して男女共同参画に関するイベント等を開催する。(週間・月間イベント)					
	指標	男女共同参画関連のイベント参加者数					530人 (357人)
D 施策の実績	指標実績	361人	425人	117人	217人	188人	
	内容	<p>・週間イベント:「知っていますか?LGBT」/講師 特定非営利活動法人ASTA/市民交流センター/参加者 101人</p> <p>・月間イベント:「LGBTのトーク及びシネマ「彼らが本気で編むときは、」上映/アンフォーレ/参加者 166人</p> <p>・セミナー(第1回):「もっと広がる歌の世界」/44人</p> <p>・セミナー(第2回):「多様な性 まず知ることから」/50人</p> <p>・週間イベント:「どうなってるのかな 世界の子育て・子育て事情」/市民交流センター/参加者 77人</p> <p>・月間イベント:「トーク及びシネマ「ドリーム」上映/文化センター/参加者 236人</p> <p>・セミナー(第1回):「子どもに耳をかたむけて～子ども権利条約から学ぶこと～」/交流センター/参加者 63人</p> <p>・セミナー(第2回):「子どもの個性もみとめよう～男女だけではなく、性の多様性」/交流センター/参加者 49人</p> <p>・週間イベント:新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止</p> <p>・月間イベント:「子どもの個性も認めよう～知ってる?知っとこ!LGBT～」/オンライン講演/参加者 48人</p> <p>・サテライトセミナー:「発達障害を知ろう!～入門編～」/オンライン講演/参加者 69人</p> <p>(新型コロナウイルス感染症拡大予防のため2回のうち1回が中止)</p> <p>・週間イベント:「スポーツをジェンダーの視点でみてみよう」/オンライン講演/参加者 42人</p> <p>・月間イベント:「きっと毎日が楽しくなる!心地いい家族のカチカチ」/オンライン講演/参加者62人</p> <p>・男女共同参画セミナー:「私だって本当は叩きたくない」/オンライン講演/参加者 113人</p> <p>・週間イベント:「子どもも大人も知りたい性教育」/オンライン講演会/107人</p> <p>・市制施行70周年記念事業男女共同シンポジウム:講師療養のため中止</p> <p>・男女共同参画サテライトセミナー:「女性や子ども達に起きていること～性暴力・DV・パワハラ～」/オンライン講演会/(見込み)参加者81人:(R3年度実績217人+R4年度週間イベント実績107人)/4=81人</p>					

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	週間・月間イベント、セミナーで市民の視点に沿った講演会等を開催し啓発することができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催できる環境を整えた。					
C 総評から見えてきた課題	より多くの人に参加してもらえるよう、社会情勢を考慮しながら市民の求めるイベント内容の検討が必要である。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	継続(現状維持)
A <継続の場合> R6～10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、週間・月間イベント、セミナーで市民が男女共同参画の重要性を認識する啓発イベントを継続して実施する。	

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	1	男女平等意識の促進	担当所属	市民協働課			
施策	(2)	男女共同参画に関する学習機会の提供					
取組	出前講座の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	4	市民等の要請に応じ、地域、職場、学校園などにおいて男女共同参画に関する出前講座等を実施する。					
	出前講座の実施回数						2回
指標実績		1回	1回	0回	2回	2回	
D 施策の実績		第4次男女共同参画プランについて「さんかく21・安城」へ出前講座を実施した。プランの見直しや新規に追加した内容について説明し、安城市の取組内容や女性活躍推進LGBT等について理解を促した。	三ツ川老人クラブで「まちかど講座」を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施であった。	ユースカレッジと国際ソロプチミスト安城で出前講座を実施した。	ユースカレッジとやなぎ会で出前講座を実施した。	

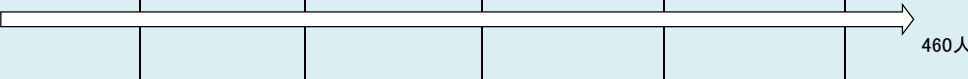
第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	新型コロナウイルス感染拡大のため出前講座ができない時もあったが、要請があった団体には出前講座を実施できた。		
C 総評から見えてきた課題	男女共同参画について理解を深める出前講座を実施するため、興味を引く内容の講座を検討をする必要がある。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 	B	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6～10に実行していく具体的な施策方針	より多くの人に啓発するために、出前講座の内容を充実させ実施する。	

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	1	男女平等意識の促進	担当所属	市民協働課			
施策	(2)	男女共同参画に関する学習機会の提供					
取組	人材育成のための講座等の開催						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
取組内容的な P	5	方針・施策決定の場に参画できる女性人材を計画的かつ継続的に育成する。					
	指標						
指標実績		351人	366人	381人	397人	417人	
D 施策の実績		<p>①男女共同参画とは／日置雅子氏 ②私たちの暮らしの中の法／弁護士 下野谷順子氏 ③メディアリテラシー／名古屋大学准教授小川明子氏 ④・安城市政・安城市の男女共同参画施策・議会(午後:傍聴)／市職員 ⑤わかりやすいまとめ方 ⑥効果的な伝え方 ⑦成果発表会／松田照美氏 (全7回)実施。最後の成果報告会では、「男性の育児休業について」「出産後の女性が働き続けるのはむずかしいのか」をテーマに発表した。</p>	<p>①誰もが自分らしくいられるように／愛知淑徳大学非常勤講師 中島氏 ②私たちの生活の中の法律／弁護士 下野谷氏 ③これからどうなる安城市／市職員 ④メディアの情報を理解する／東海学園大学教授 北出氏 ⑤言にくいことをうまく伝える話し方 ⑥プレゼンでのコミュニケーションスキル ⑦成果発表会／人材育成コンサルタント 松田氏 全7回実施。成果発表会では、4グループがそれぞれ調べたテーマを発表した。</p>	<p>①ジェンダーバイアスと本当の自己実現／愛知淑徳大学講師 中島氏 ②心と体を整えるセルフメンテナンス／看護師・ヨガインストラクター TAMAKO氏 ③女性・子どもと法律／弁護士 下野谷氏 ④日常のイライラ解消法／(一社)日本アングーマネジメント協会認定講師 稲垣氏 ⑤気持ちを伝える会話術／人材育成コンサルタント 松田氏 全6回実施。交流会1回開催。(新型コロナウイルス感染症拡大予防のため定員を15人とした。)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図り開催した。 ①人生100年時代の女性のキャリア～女性の今を知らう～ ②「キャリアの棚卸し」で人生総点検～私の過去を知らう～ ③心理テストとコミュニケーションで深める自己理解～私の今を知らう～ ④思いを実現した女性たち～ゲストと体験を共有しよう～ ⑤私ならではのキャリアアビジョン～私の未来を描こう～ ⑥宣言！私のアクションプラン～前に向かって一歩を踏み出そう～全6回実施。／名古屋学院大学 安藤りか氏</p>	<p>①人生100年時代の女性のキャリア～女性の今を知らう～ ②「キャリアの棚卸し」で人生総点検～私の過去を知らう～ ③心理テストとコミュニケーションで深める自己理解～私の今を知らう～ ④これならできる！最初の一步の踏み出し方～講座修了生の体験談を聞いてみよう～ ⑤私ならではのキャリアアビジョン～私の未来を描こう～ ⑥宣言！私のアクションプラン～前に向かって一歩を踏み出そう～全6回実施。／名古屋学院大学 安藤りか氏</p>	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	R3年度から同じ講師の連続講座として開催したことで、受講生は回を重ねるごとに自身の気持ちの変化や新しい考え方を発見することができ、満足度の高い講座との声を多数いただいた。受講後は新しいことを始めたり、審議会等市民公募での活躍がみられる。					
C 総評から見えてきた課題	受講後の人材活用や人材育成のフォローアップが不十分である。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
<継続の場合> R6～10に実行していく具体的な施策方針	<p>内容を検討し満足度の高い講座を開催する。 受講後のフォローアップのため研修やセミナーの案内を継続して行う。 「No.27女性活躍推進のために職場環境を考える講座などを開催する」の取組を包含する講座内容のため統合する。</p>					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	1	男女平等意識の促進	担当所属	市民協働課			
施策	(2)	男女共同参画に関する学習機会の提供					
取組	市役所職員への男女共同参画研修の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容 指標	6	男女共同参画への意識を高めるため、市職員の研修を実施する。					
	市職員の男女共同参画研修参加者数	→					85人
指標実績		169人	152人	199人	201人	205人	
D 施策の実績		①DV職員研修参加者(60名)「DVの基礎知識」/増井 さとみ氏(ウイメンズカウンセリング名古屋YWCA) ②LGBT職員研修参加者(60名)「LGBTの基礎知識及びライフストーリーなど」/特定非営利活動法人ASTA ③新入庁職員研修参加者(49名)「男女共同参画について」市職員	①DV職員研修参加者(55名)「DVの基礎知識」/加藤 佐紀子氏(ウイメンズカウンセリング名古屋YWCA) ②LGBT職員研修参加者(97名)「LGBTの基礎知識及びライフストーリーなど」/特定非営利活動法人ASTA	①DV職員研修参加者(52名)「DVの基礎知識」/具 ゆり氏(ウイメンズカウンセリング名古屋YWCA) ②LGBT職員研修参加者(85名)「LGBTの基礎知識及びライフストーリーなど」/特定非営利活動法人ASTA ③新規採用職員研修参加者(62人)	①DV職員研修参加者(53名)「DVの基礎知識」/具 ゆり氏(ウイメンズカウンセリング名古屋YWCA) ②LGBT職員研修参加者(84名)「LGBTの基礎知識及びライフストーリーなど」/特定非営利活動法人ASTA ③新規採用職員研修参加者(64人)	①DV職員研修参加者(52名)「DVの基礎知識」/鈴木尚子氏(ウイメンズカウンセリング名古屋YWCA) ②LGBT職員研修参加者(83名)「LGBTの基礎知識及びライフストーリーなど」/特定非営利活動法人ASTA ③新規採用職員研修参加者(70人)	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	新規採用職員や幅広い年代の職員に研修を実施できた。					
C 総評から見えてきた課題	さらに多くの職員に参加してもらえるように、参加を促す必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	内容を検討し、満足度の高い研修を継続して実施する。	

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	2	若年者への男女平等意識の定着	担当所属	保育課			
施策	(1)	学校等における教育機会の充実					
取組	保育者への男女共同参画研修の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	7	園長・所長を対象に、男女共同参画に関する研修を実施し、男女平等への理解を深める。					
		32人					
D 指標実績 施策の実績	指標実績	27人	27人	32人	32人	32人	
	施策の実績	園長対象に研修を行うことにより、男女平等への理解を深めることが出来た。	園長を対象に、研修を行うことにより、男女平等への理解を深めることができた。	園長を対象に、研修を行うことにより、男女平等への理解を深めることができた。	1月に園長を対象に、研修を行った。	1月に園長を対象に研修を行うことにより、男女平等への理解を深めることができた。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

C	総評	研修をととして、園長に男女共同参画に関しての理解を深められた。					
	総評から見えてきた課題	職員への男女平等への意識の定着。					
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A	本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	継続(現状維持)	
	〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	必要に応じて研修の対象を園長から主任等へ広げて実施する。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	2	若年者への男女平等意識の定着	学校教育課				
施策	(1)	学校等における教育機会の充実					
取組	学校等における男女共同参画に関する教育の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
取組内容的な	8	学校等において、男女平等意識を浸透させるための学習を推進する。					
P 指標	「道徳」「学活」「総合」「保健」「人権教育」の授業で男女共同参画の学習を行った学級数						すべての学級
指標実績		421学級	451学級	すべての学級	すべての学級	全ての学級	
D 施策の実績		全小中学校の約7割の学級において、授業で男女共同参画の学習を行った。	全小中学校の約75%の学級において、授業で男女共同参画の学習を行った。	授業や学校行事等を通して、男女間の違いや特性、あるいは個性を尊重する心を育んだ。	保健や保健体育、道徳の授業や学校行事等を通して男女間の違いや特性、個性を尊重する心を育みながら、学校生活に生かせるような取り組みを実践した。	保健や保健体育、道徳の授業や学校行事等を通して男女間の違いや特性、個性を尊重する心を育み、学校生活に生かせるような取り組みを実践した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	子どもの発達段階に応じながら男女共同参画に関する教育を計画的に進めることができた。					
C 総評から見えてきた課題	学んだことを学校生活に生かせるような取り組みをさらに進めていく必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
A <継続の場合> R6~10に実行していく具体的な施策方針	学校等において、男女共同参画の意識を浸透させるための学習を進める。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	2	若年者への男女平等意識の定着	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	学校等における教育機会の充実					
取組	生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	9	生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。					
	リーフレット等の配布数						2,000枚
指標実績		3,808枚	5,148枚	3,725枚	3,501枚	3,627枚	
D 施策の実績		①「明るい男女共同参画」のリーフレットにデートDV及びLGBTの記事を掲載し、市内全中学3年生(1878人)に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、市内全幼稚園・保育園の年少児の保護者(1930人)に配布。LGBTの正しい知識の情報提供をした。	①「みんなでつくる男女共同参画」のリーフレットに、デートDV及びLGBTの記事を掲載し、市内全中学3年生(1,832人)に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、市内全幼稚園・保育園の年少児の保護者(1,749人)及び3歳児保護者(1,567人)に配布。	①「みんなでつくる男女共同参画」のリーフレットに、デートDV、LGBT及びジェンダー指数の記事を掲載し、市内全中学3年生(1,829人)に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、3歳児保護者(1,896人)に配布した。	①「ありのままのわたし、大切なあなた」のリーフレットに、デートDV、LGBT及びジェンダー指数の記事を掲載し、市内全中学3年生(1,842人)に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、3歳児保護者(1,659人)に配布した。	①「ありのままのわたし、大切なあなた」のリーフレットに、デートDV、LGBT及びジェンダー指数の記事を掲載し、市内全中学3年生(1,920人)に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、3歳児保護者(1,707人)に配布した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	毎年内容を検討し、社会状況にあったパンフレットを作成し配布することができた。 R2年度からより低年齢の3歳児保護者にリーフレットを配布することができた。		
C 総評から見えてきた課題	授業で取り上げられているかどうか不明である。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 		A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	中学3年生に配布とともに授業等で取り上げてもらえるよう依頼し啓発を行う。 配布実績は生徒数によるので、目標数値を定めない取組とする。 3歳児保護者へのLGBTパンフレット配布実績は、「5(1)多様性を認め合う社会環境の整備 No40 性的少数者(LGBTなど)に対する理解を深めるための啓発を行う」の取組とする。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	2	若年者への男女平等意識の定着	学校教育課				
施策	(1)	学校等における教育機会の充実					
取組	生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	9 生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。					
	指標						—
D	指標実績	—	—	—	—	—	
	施策の実績	インターネット、書籍などを利用してデートDVに関する情報を収集した。	インターネット、書籍などを利用してデートDVに関する情報を収集した。	DVIに関する情報を国や県の通知をもとに収集し、各学校へ周知した。	国や県の通知等から、生徒向けデートDVに関する情報を精査し、各校へ周知した。	国や県の通知等から、生徒向けデートDVに関する情報を精査し、各校へ周知した。	



第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	国や県の通知等を活用し、デートDVに関する情報各校への周知に努めた。					
C	総評から見えてきた課題	各校において、通知を有効に活用しながら生徒への啓発を行っている。引き続き通知を行っていくが、特に課題はない。				
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 			A	



次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A	本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 			完了	
	〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	2	若年者への男女平等意識の定着	学校教育課				
施策	(1)	学校等における教育機会の充実					
取組	教育現場におけるLGBTへの対応						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 指 標	10	教育現場において性的少数者(LGBTなど)に対する理解を深めるための啓発や研修機会の提供を行う。					
		85%以上実施					
		65%	70%	70%	79%	75%	
D 指 標 実 績		65%	70%	70%	79%	75%	
D 施 策 の 実 績		県やNPOなどが主催する性的少数者(LGBT等)に対する研修会の情報提供を行い、約65%の教職員に対して啓発を行った。	県やNPOなどが主催する性的少数者(LGBT等)に対する研修会の情報提供を行った。各校の校長を通じて、市内教職員約1,000人のうち休職中や時短の職員を除く約700人に情報提供した。	教職員が、性的少数者(LGBT等)に対する理解を深めることができるようパンフレット等を活用し、啓発した。各校の校長を通じて、市内教職員約1,000人のうち休職中や時短の職員を除く約700人に情報提供した。	パンフレットによる啓発に加え、長期休業中に研修会を計画し、役職者及び養護教諭と希望者を対象にして、性的少数者(LGBT等)に対する理解を深めた。 (教職員約1,000名中、産育休等の休職者を除く700名にパンフレットによる啓発を実施すると共に、教務主任、校務主任、養護教諭、希望者の91名が研修会に参加した。)	パンフレットによる啓発に加え、長期休業中に研修会を計画し、役職者及び養護教諭と希望者を対象にして、性的少数者(LGBT等)に対する理解を深めた。 (教職員約1,000名中、産育休等の休職者を除く700名にパンフレットによる啓発を実施すると共に、各校2名の教員58名が研修会に参加した。)	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	コロナ禍のなか、オンライン等を活用しながら教員研修を継続的に実施することができた。					
C 総評から見えてきた課題	多様化、複雑化している社会に対応した教育を進めるため、すべての教職員に対してLGBT等についての理解を深める啓発や研修を継続して行う必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 					B

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6～10に実行していく具体的な施策方針	教育現場において性的少数者に対する理解を深めるための啓発や研修機会の提供を行う。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	2	若年者への男女平等意識の定着	健康推進課				
施策	(2)	思いやり、認め合う意識の醸成					
取組	思春期保健の推進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	11	学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。					
		50件					
D 指標実績	講師派遣及び物品貸し出し件数	41件	56件	29件	34件	30件	
		<p>小中学校を中心に講師派遣等を29回、物品貸し出しを12回行った。その他、市内のすべての小中学生にチラシを配布し思春期保健に関する啓発を行った。</p> <p>小中学校を中心に講師派遣等を32回、物品貸し出しを24回行った。また、思春期保健に関する啓発をするために、長期休暇前に小学5、6年生及び中学生を対象にチラシを配布した。</p> <p>小中学校を中心に講師派遣等を23回、物品貸し出しを6回行った。また、思春期保健に関する啓発をするために、長期休暇前に小学5、6年生及び中学生を対象にチラシを配布した。</p> <p>小中学校を中心に講師派遣等を30回、物品貸し出しを4回行った。また、思春期保健に関する啓発をするために、長期休暇前に小学5、6年生及び中学生を対象にチラシを配布した。</p> <p>小中学校を中心に講師派遣を26回、物品貸し出しを4回行った。また、思春期保健に関する啓発をするために、長期休暇前に小学5、6年生及び中学生を対象にチラシを配布した。</p>					

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	申し込み件数はコロナ禍前までに回復はしていないが、関係機関の健康教育が再開されつつあると思われる		
C 総評から見てきた課題	感染症対策を継続し、小中学校等へPRLしていく		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 		C

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	<p>内容の見直し等を行い、小中学校等へPRLしていく必要がある。</p> <p>【意見】実施内容は継続(現状維持)していくが、数値指標が実際とつながらないため、次期プランでは取り組み内容の実施を文書表現にとどめていく。</p>	

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	2	若年者への男女平等意識の定着	学校教育課				
施策	(2)	思いやり、認め合う意識の醸成					
取組	思春期保健の推進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	11	学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。					
	—	→					
指標実績		—	—	—	—	—	—
D 施策の実績		保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業を行った。	保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業を行った。	保健の授業において、男女の成長の違いに関する授業を実施した。	保健の授業や保健体育の授業において、男女の成長期における違いを理解するとともに、違いを認めようとする意識の向上を図った。	保健の授業や保健体育の授業において、男女の成長期における違いを理解するとともに、違いを認めようとする意識の向上を図った。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	発達段階に応じた保健教育に計画的、系統的に取り組むことができた。		
C 総評から見えてきた課題	担任をはじめ、養護教諭等による保健教育については、今後も継続して取り組んでいくが、課題は特にない。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 		A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		完了
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針			

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	2	若年者への男女平等意識の定着	子育て支援課				
施策	(2)	思いやり、認め合う意識の醸成					
取組	赤ちゃん出合い・ふれあい交流事業の推進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 指 標	12	命の大切さを学ぶことで、人権意識を認識し、思いやりの意識を醸成する機会として、小中学生を対象とした赤ちゃん講座を開催し、小中学生と乳幼児がふれあう機会を設ける。					
		840人					
D 指 標 実 績	児童センターの赤ちゃん出合い・ふれあい交流事業の参加人数	735人	1,438人	0人	0人	300人	
D 施 策 の 実 績		児童センター9カ所（ふれあい体験、赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）	児童センター9カ所（ふれあい体験、赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）で実施。	新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施。	新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施。	児童センター9カ所（赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験、絵本の読み聞かせ・手遊び等）	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	コロナ禍の影響を受ける前までは、多くの小中学生が参加し、赤ちゃんとのふれあいにより命の大切さなど学ぶ機会とすることができた。コロナ禍により、R2・R3年度は本事業を中止としたが、令和4年度から赤ちゃんと直接触れ合わずにできる絵本の読み聞かせや手遊びなどにより事業を行うことで、コロナ禍においても命の大切さや思いやりの意識を高めることができた。					
C 総評から見えてきた課題	コロナ禍により、児童センター利用者が減少したため、本事業の参加人数も少なくなったが、状況の変化の中でも内容を工夫し事業を進めていくことが必要。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					B

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					完了
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針						

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	女性のエンパワーメントへの支援					
取組	各種審議会等における女性委員の増加に向けた取組						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具 体的 内 容 な	13	各種審議会等における女性委員の割合を増やし、方針・政策決定の場への女性の参画を進める。					
	指標						
D 指 標 実 績	① 法律・条例により設置される審議会等の女性委員の割合	29.9%	30.9%	31.6%	31.4%	30.8%	30.4%
P 指 標	② すべての審議会等における女性委員の割合						
D 指 標 実 績	② すべての審議会等における女性委員の割合	30.9%	31.7%	33.0%	33.4%	32.2%	33%
D 施 策 の 実 績	年4回(4、6、9、12月)審議会等の女性委員調査を実施。次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課(11課)へヒアリングを実施し、女性委員を登用いただくよう依頼した。	年3回審議会等の女性委員調査を実施。次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課(10課)へヒアリングを実施し、女性委員の登用促進をした。 ①法律・条例により設置される審議会等(女性委員の割合:女性委員186名/委員総数601名) ②すべての審議会等(女性委員の割合:女性委員374名/委員総数1,178名)	年4回審議会等の女性委員調査を実施。次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課(5課)へヒアリングを実施し、女性委員の登用促進をした。 ①法律・条例により設置される審議会等(女性委員の割合:女性委員212名/委員総数671人) ②すべての審議会等(女性委員の割合:女性委員397名/委員総数1,203人)	年4回審議会等の女性委員調査を実施。次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課(8課)へヒアリングを実施し、女性委員の登用促進をした。 ①法律・条例により設置される審議会等(女性委員の割合:女性委員178名/委員総数566人) ②すべての審議会等(女性委員の割合:女性委員367名/委員総数1,098人)	年2回審議会等の女性委員調査を実施。次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課(9課)へヒアリングを実施し、女性委員の登用促進をした。 ①法律・条例により設置される審議会等(女性委員の割合:女性委員180名/委員総数584人) ②すべての審議会等(女性委員の割合:女性委員360名/委員総数1,113人)		

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	女性登用の認知が進み登用率が増えた。数値の目標は達成しているが、あて職で依頼している委員が異動で女性から男性に変更することがあるため減少する可能性がある。団体の代表として推薦される役職者に男性が多い。					
C 総評から見えてきた課題	審議会等の委員を依頼する団体(特に町内会など)の役員に女性が少ないため、女性の登用率が伸びない。女性を登用しにくい審議会がある。(医師、税理士等の有資格者および地権者等が男性委員で、市民公募枠がない)					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、各種審議会等における女性委員の割合を増やし、方針・政策決定の場への女性の参画を進める。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	女性のエンパワーメントへの支援					
取組	女性の人材リスト等の整備						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具 体的 内 容	14	エンパワーメント講座修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登録し、審議会等への登用をPRする。					
	指標	市民参加パートナーバンクの登録者数(累計)					202人
	指標実績	184人	185人	189人	200人	209人	
D 施策 の 実 績		エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登録依頼を実施した。	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジの修了生へ人材リストへの登録依頼をした。	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジの修了生へ人材リストへの登録依頼をした。	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジの修了生へ人材リストへの登録依頼をした。	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登録依頼をした。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	各講座の修了生に案内し人材リストの登録につながった。		
C 総評から見えてきた課題	登録人数を増やすためのPR方法の検討や、審議会等の活動についての説明が必要である。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 		A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、エンパワーメント講座修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登録し、審議会等への登用をPRする。	

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	女性のエンパワーメントへの支援					
取組	女性の人材育成のための研修・講座への派遣						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	15 女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。					
	指標	研修会等派遣者数(累計)					43人
	指標実績	29人	29人	30人	36人	39人	
D	施策の実績	・日本女性会議へ公募市民2名派遣した。 ・女性教育指導者研修会へ市民1名派遣した。		・日本女性会議へ公募市民2名派遣予定であったが、災害により中止。		・県男女共同参画人材育成講座へ1人派遣した。 ・日本女性会議(刈谷)へ市民団体から参加。28人分の参加料を市で負担	
		・地域における男女共同参画推進リーダー研修へ3人派遣した。 ・県男女共同参画人材育成講座へ1人派遣した。 ・日本女性会議(甲府市)へ市民団体1人、公募市民1人派遣した。		・県男女共同参画人材育成講座へ1人派遣した。 ・日本女性会議(倉吉市)へ市民団体1人、公募市民1人派遣した。			

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	日本女性会議と人材育成講座に派遣し人材育成をすることができた。					
総評から見えてきた課題	日本女性会議は開催地の問題等で毎年開催されない場合があり、県などで行う講座ではなく別の講座などで人材育成をしていく必要がある。					
施策の進捗度	・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成)				B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	日本女性会議が毎年開催ではなくなるため、県等の講座だけではなく別の講座等で役割を果たす必要がある。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	生涯学習課			
施策	(1)	女性のエンパワーメントへの支援					
取組	女性の人材育成のための研修・講座への派遣						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容 指標	15	女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。					
		6人					
D 指標実績 施策の実績		4人	16人	16人	27人	48人	
		県PTA連絡協議会や家庭教育推進協議会の情報交換会や講演会に女性リーダーに出席していただいた。	県PTA連絡協議会や家庭教育推進協議会の研修会等に女性リーダーに出席していただいた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催される研修会や講座が中止になり実施できなかった。	県PTA連絡協議会や家庭教育推進協議会の研修会等に女性に出席していただいた。(11人)	県PTA連絡協議会や家庭教育推進協議会の研修会等に女性リーダーに出席していただいた。	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	女性リーダー育成につながるような研修会等には積極的に申込をし、オンラインで参加できるものについてはへきしんギャラクシープラザを研修会場にして気軽に参加しやすい環境づくりに努めた。					
C 総評から見えてきた課題	女性のみを対象にした研修会は少ないので、参加者を募る際に女性のみ声をかけることができず、女性の出席が難しい場合がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6～10に実行していく具体的な施策方針	今後も女性がエンパワーメントに対する意識、知識を高めることができる研修会や講座へ市民を派遣する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	女性のエンパワーメントへの支援					
取組	誰もが学べる環境の整備						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 指 標	16	講座等の開催において託児の実施を行うなど、誰もが学びの場へ参加しやすい環境を整備する。					
		7講座					
D 指 標 実 績	託児付講座数	5講座	5講座	3講座	4講座	3講座	
		<p>①男女共同参画週間イベント「LGBTを知っていますか」 ②新しい私発見講座 ③男女共同参画月間イベント「彼らが本気で編むときは、」 ④男女共同参画セミナー ⑤男女共同参画サテライトセミナー</p> <p>①男女共同参画週間イベント ②新しい私発見講座 ③男女共同参画月間イベント ④男女共同参画セミナー2回</p> <p>①エンパワーメント講座 ②男女共同参画月間イベント ③男女共同参画サテライトセミナー ②、③はオンライン開催のため託児がなかったが、育児中でもオンラインなら参加しやすいと解釈し、3講座とした。</p> <p>①男女共同参画週間イベント ②エンパワーメント講座 ③男女共同参画月間イベント ④男女共同参画セミナー ①、③、④はオンライン開催のため託児がなかったが、育児中でもオンラインなら参加しやすいと解釈し、4講座とした。</p> <p>①男女共同参画週間イベント ②エンパワーメント講座 ③男女共同参画サテライトセミナー ①、③はオンライン開催のため託児がなかったが、育児中でもオンラインなら参加しやすいと解釈し、3講座とした。</p>					


第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	講座等の開催において託児の実施を行うなど、誰もが学びの場へ参加しやすい環境を整備できた。オンライン開催では、託児対象ではない子育て世代にも啓発を実施できた。					
C 総評から見えてきた課題	興味のある内容の講座を開催し、より多くの方が参加しやすい環境を整備する必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 				C	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	現地開催とオンライン開催を併用し、育児中でも学びの場に参加しやすい環境を整備する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	生涯学習課			
施策	(1)	女性のエンパワーメントへの支援					
取組	誰もが学べる環境の整備						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	16 講座等の開催において託児の実施を行うなど、誰もが学びの場へ参加しやすい環境を整備する。					
	指標	託児付講座数					
D	指標実績	38講座	34講座	0講座	18講座	27講座	
	施策の実績	公民館主催講座、乳幼児・家庭教育学級等で託児付き講座を実施した。開講した際の託児の希望者は非常に多く、子どもを育てながら学びたいといった女性が増えていることが伺える。	公民館主催講座、乳幼児・家庭教育学級等で託児付き講座を実施した。開講した際の託児の希望者は非常に多く、子どもを育てながら学びたいといった女性が増えていることが伺える。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、託児を全般的に中止した。	公民館主催講座、乳幼児・家庭教育学級等で託児付き講座を実施した。開講した際の託児の希望者は非常に多く、子どもを育てながら学びたいといった女性が増えていることが伺える。	公民館主催講座、乳幼児学級・家庭教育学級等で託児付き講座を実施した。開講した際の託児の希望者は非常に多く、子どもを育てながら学びたいといった女性が増えていることが伺える。	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	公民館主催講座、乳幼児学級・家庭教育学級等をはじめ、社会課題テーマ講座や市民企画講座でも託児付き講座を実施している。また新規託児者の育成を目的として、令和4年度には「託児者養成講座」を開催した。						
総評から見えてきた課題	託児希望者が託児付きで講座に参加できるように新規託児者の育成が必要である。また、受講者が安心して子供を預けることができるよう、社会情勢の変化を反映した託児現場の対応が必要である。						
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 					B	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)	
〈継続の場合〉R6～10に実行していく具体的な施策方針	託児が必要な月齢の子どもを育てながら自分らしく生きがいをもって生活できるような講座や託児付き講座を今後も開催していく。						

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	商工課			
施策	(2)	職場における女性活躍の推進					
取組	職場での女性活躍に向けた啓発・情報提供						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	17 女性管理職の拡大や女性の能力の活用について、県・関係機関が開催する講座などの情報収集に努め、商工会議所会報への掲載を依頼するなど、連携して企業・事業所などへの啓発を行い、女性の積極的な参加を促す。					
	指標	県・関係機関が開催する講座等の啓発回数					
	指標実績	6回	7回	5回	6回	4回	
D	施策の実績	<p>平成30年10月10日(水)アンフォーレ多目的室にて、愛知県と共催で「イクボス養成セミナー」と題して、榑デンソーの人事部の方を講師として招き、企業が持続的に成長していくため、ライフイベントを超えて、女性が生き生きと活躍できる環境や組織実現に向けた取り組みについての講演を行った。</p> <p>愛知県と共催で開催した職場のメンタルヘルスセミナーに61名の参加があり、関心の高さを改めて感じた。「人材定着のためのメンタルヘルス対策」と題し、中小企業の課題を踏まえ、メンタルヘルスへの取組み、コスト面でのメリット等について聴講し、働きやすい環境づくりを企業に促した。</p> <p>コロナ禍のため、県と共催する予定の労働講座は中止とした。一方でチラシや冊子による啓発・情報提供に努めた。</p> <p>検温・手指消毒や換気等コロナ対策を徹底したうえで、「コロナ下における労働問題への対応」や、「男性の育児休業促進」をテーマに、県と共同で労働講座を開催した。</p> <p>検温・手指消毒や換気等コロナ対策を徹底したうえで、「仕事と介護の両立について」と、「介護離職によって貴重な人材を失わないためにどうしたら良いか」をテーマに、県と共同でセミナーを開催した。</p>					
							—

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	県と連携して女性能力向上につながる講座・セミナーを開催し、啓発に努めた。チラシや冊子による情報提供に努めた。						
C	総評から見えてきた課題	現状のニーズに即した講座・セミナーの開催					
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)		
A	〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	県と連携した女性能力向上につながる講座・セミナーの開催 チラシや冊子による情報提供					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	商工課			
施策	(2)	職場における女性活躍の推進					
取組	女性の起業支援の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 指 標	18	アンフォーレ内に設置する「安城ビジネスコンシェルジュ(通称「ABC」)」において、Anjo創業支援ファームやKEY PORT(キーポート)と連携し、起業セミナーを開催する。					
		→ 30人					
D 指 標 実 績		18人	11人	15人	15人	15人(見込)	
		<p>KEY PORT(キーポート)にて、ABCの専門家等を講師として全9回にわたり、「KEYPORT卒業後の不動産探しのポイント」「IoT時代に乗り遅れないビジネスモデルとは」「元記者が教えるメディア活用法」等をテーマに起業やビジネスに役立つセミナーを開催した。</p> <p>5日間にわたり、起業セミナーを開催し、受講生は起業に必要な知識、ノウハウを習得した。</p> <p>5日間にわたり、起業セミナーを開催し、受講生は起業に必要な知識、ノウハウを習得し、ビジネスプランをまとめた。</p> <p>5日間にわたり、起業セミナーを開催し、受講生は起業に必要な知識、ノウハウを習得し、ビジネスプランをまとめた。</p> <p>R5.1月～2月の5日間にわたり、起業セミナーを開催予定。受講生の起業に必要な知識、ノウハウの習得につなげる。</p>					

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	起業セミナーの開催により、起業に必要な知識、ノウハウの習得を支援し、起業の後押しができた。					
C 総評から見えてきた課題	現状の起業ニーズの把握					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉 R6～10に実行していく具体的な施策方針	ニーズに合った起業セミナーの開催					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	商工課			
施策	(2)	職場における女性活躍の推進					
取組	女性の就労支援・再就職支援等の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具体的 内容	19	出産・育児・介護などで退職した女性の再就職を支援するための情報の発信を行うとともに、セミナーを開催する。					
	指標	再就職支援セミナー受講者数 → 20人					
	指標実績	13人	24人	32人	37人	30人(見込)	
D 施策の 実績		平成31年1月17日(木)・24日(木)に文化センターで再就職をお考えの方を対象に、パソナ様及びノエビアを講師として招き、求人状況と働き方のトレンド及び就職活動にすぐに役立つ知識とスキルについての講演を実施した。	「キャリアプランとマネーセミナー」「就職活動に役立つスキルと自己理解」をテーマに2日間にわたり、女性の再就職サポートセミナーを開催した。	「職場復帰・再就職に向けて「自分」を知ろう」「両立のための「コツ」を知ろう」をテーマに2日間にわたり、女性の再就職サポートセミナーをオンラインで開催した。	職場復帰又は再就職を検討している未就職の女性を対象に、2日間にわたり、女性の再就職サポートセミナーをオンラインで開催した。	職場復帰又は再就職を検討している未就職の女性を対象に、R5.1月に、「自分らしいキャリアデザインや働き方を見つけよう」をテーマにオンラインセミナーを開催予定。	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	職場復帰又は再就職を検討している未就職の女性を対象にしたセミナーを開催し、自分らしい働き方に向けた支援ができた。					
C 総評から見えてきた課題	職場復帰又は再就職を検討している未就職の女性が求める内容の把握					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉 R6～10に実行していく具体的な施策方針	ニーズに合ったセミナーの開催 参加のハードルを下げるため、オンラインでの開催継続					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	人事課							
施策	(2)	職場における女性活躍の推進								
取組		安城市における「特定事業主行動計画」の推進								
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5			
P	指標	① 管理的地位にある職員(課長補佐級以上)に占める女性職員の割合(再掲)	市役所における職員の子育て支援、女性職員の活躍に向けた環境整備のため、「特定事業主行動計画」の目標達成(女性管理職割合増)に努める							
			17%							
D	指標実績		11.3%	9.9%	8.3%	9.6%	10.10%			
		P	指標	② 市男性職員の育児休業等の取得率	85%					
D	指標実績					90.5%	77.3%	95.5%	86.2%	100%
		D	施策の実績		管理職への女性登用を意識した人事異動を行ったが、研修や面談による人材育成はできなかった。		①管理的地位にある職員(課長補佐級以上)に占める女性職員の割合(女性数14名/課長補佐級以上職員数142名) ②市男性職員の育児休業等の取得率(育児休業等取得者数17名/年度内に子どもが産まれた男性職員数22名) 令和2年4月の人事異動に向けて以下の方針を決めた。 【方針】将来管理職へ登用できる可能性のある意欲と能力のある人材を、管理職の一つ前の職位である係長級へ積極的に登用し、管理職とより身近な環境で業務にあたらせることで人材育成を図る。		①係長級の女性職員の登用を2名増とした。 ②出産に係る手続きの際、制度を周知した。	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	①目標を達成することはできなかったが、係長級の女性職員はH30年の49人から61人へと増加し、将来の管理職増に向けての土台を作ることができた。 ②制度の周知は十分できており、概ね目標を達成することができた。取得していない者についても、制度の周知はできており、個人的な事情で取得をしなかったケースが多かった。					
C	総評から見えてきた課題	①女性管理職増に向けての土台はできてきたが、さらなる女性管理職の登用を進めるためには、意欲と能力のある女性職員の係長級への登用をより一層進めつつ、ワークライフバランスへの配慮も必要となる。 ②目標を達成し続けるため、今後も継続して周知をする必要がある。				
	施策の進捗度	・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成)				B

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A	本施策の今後の方向性	・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止				継続(現状維持)
	〈継続の場合〉R6～10に実行していく具体的な施策方針	①引き続きワークライフバランスに配慮をしつつ、管理職や係長級への登用を増やしていく。 ②引き続き周知の徹底をしつつ、取得しやすい職場環境を整備していく。				

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	農務課			
施策	(2)	職場における女性活躍の推進					
取組	女性農業者への支援の充実						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容	21 農業分野における男女共同参画、女性活躍が促進されるよう、希望する女性に対し、就農や農業経営等の支援を行う。					
	指標	家族経営協定の締結農家戸数					69戸
	指標実績	66戸	67戸	70戸	73戸	73戸	
D	施策の実績	3月に女性農業者のつどいを開催し、愛知県農業改良普及課の職員、女性農業委員、家族経営協定を締結している人から、家族経営協定等についての話をしてもらおうとともに、意見交換会を行った。また、同じ月に家族経営協定調印式を実施し、新たに1家族が調印した。		12月の農業委員会定例後に家族経営協定調印式を開催し、新たに1家族が調印しました。また、3月に女性農協者のつどいを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため延期を余儀なくされた。		前年度に協定締結の運用を見直し(年1回開催から毎月開催に変更)、令和2年度中には、新たに3家族の家族経営協定の調印を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、女性農業者のつどいを開催できなかった。	
				新たに3家族の家族経営協定の調印を行った。		4年ぶりに女性農業者のつどいを開催し、女性農業者間の情報共有、家族経営協定の目的等の周知を行った。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	女性農業者の活躍が浸透しつつあり、家族経営協定の締結農家戸数が目標値を超えることができた。また、農業分野においては、個人や家族単位が農業経営体であることが多く、家族経営協定などにより、女性の役割を明文化することで必然的に女性の活躍を推進することができるため、今後も、県とともに家族経営協定の促進を図りたい。					
総評から見えてきた課題	家族経営協定を締結することにより、家庭内での女性の役割や活躍を認識し合うことが可能であるが、女性農業者は、家庭内の活躍以外にも、県やJAなどの女性団体に所属している者もいる。女性農業者のつどいで、各団体の取組活動を紹介し合うことにより、団体間の情報共有を図ることができれば、農業分野における更なる女性の活躍が期待できる。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(拡充)	
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、女性農業者間の情報共有を通して、家族経営協定の促進を図るべきであるが、過年度に開催した女性農業者のつどいでは、若手農業者の参加者が少ないため、女性農業者のつどいを年齢問わず参加できる体制にする必要がある。例えば、新規認定就農者のご家族の女性や女性団体に対して参加の呼びかけを積極的に行うことにより、女性農業者間の情報共有を行い、女性農業者の活躍の推進を図る。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	契約検査課			
施策	(2)	職場における女性活躍の推進					
取組	子育て支援や女性の活躍推進を行う企業への優遇策の検討						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	22	女性の活躍や子育て支援、ワーク・ライフ・バランス推進等に積極的に取り組む企業を評価する入札、契約制度の拡充を検討をする。					
	入札における加点対象企業数						
	指標実績	32社	33社	33社	50社	58社	
D 施策の実績		2019年度に実施する建設工事における総合評価落札者決定方式一般競争入札の評価項目に愛知県の「女性の活躍促進宣言」の取り組みを評価することを追加した。	総合評価競争入札を41件実施し、参加業者数は28社であった。その内、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」及び「女性の活躍促進宣言」の何れかまたは両方で加点対象となった企業数は13社(46%)であった。	総合評価競争入札を55件実施し、参加業者数は34社であった。その内、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」及び「女性の活躍促進宣言」の何れかまたは両方で加点対象となった企業数は20社(59%)であった。	総合評価競争入札を62件実施し、参加業者数は32社であった。その内、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」及び「女性の活躍促進宣言」の何れかまたは両方で加点対象となった企業数は20社(63%)であった。	総合評価競争入札を57件実施し、参加業者数は32社であった。その内、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」及び「女性の活躍促進宣言」の何れかまたは両方で加点対象となった企業数は18社(56%)であった。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	加点対象企業数を大幅に増やすことができた。		
C 総評から見えてきた課題	建設事業者を対象とした総合評価競争入札のみの加点評価では、これ以上の大幅な増加は見込めない。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 		達成

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		完了
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針			

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	商工課			
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	各種制度(育児休業・介護休業等)の周知						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	23	仕事と育児・介護の両立を支援するため、育児・介護休業制度、パートタイム労働法、ファミリー・フレンドリー企業、再就職支援などの情報収集に努め、広報やチラシなどでPRL、制度などの取得・利用を促す。					
	各種制度についての広報及び啓発回数	→					—
D 指標実績		8回	7回	14回	9回	5回	
D 施策の実績		愛知県産業労働部労働局からの「仕事と介護の両立モデル事例集」のチラシを配布するなど、働き方改革を進める中で、実際に仕事と育児・介護を進めている事例集を周知した。	チラシの配布を行い制度理解を促進した。	チラシの配布を行い制度理解を促進した。	チラシの配布を行い制度理解を促進した。	チラシの配布を行い制度理解を促進した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	チラシの配布を行い制度理解を促進することができた。		
C 総評から見えてきた課題	中小企業の各種制度構築にあたり、支障となる課題等の把握		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 		B

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
A 〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	チラシの配布を通じた、制度の啓発		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	子育て支援課				
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 内容的な 指標	24	男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。					
	「パパ講座」、 「育メン広場」参加人数	→					550人
指標実績		318人	265人	63人	133人	180人	
D 施策の実績		パパ講座 3回/年 参加107人 育メン広場 1回/月 参加211人 ※1月は台風接近により中止	パパ講座 3回/年(パパと元気体操、パパのためのアンガーマネジメント、パパとパワフル運動遊び)127名参加 育メン広場 1回/月(手あそび、工作、大型絵本等)138名参加 ※3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止	パパ講座 2回/年(パパと元気体操、パパと一緒にわくわく体操) 育メン広場 1回/月[8~2月](手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等)	パパ講座 3回/年(ベビーマッサージ、リトミックを楽しもう、音楽に合わせて親子で遊ぼう) 育メン広場 1回/月(手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等)	パパ講座 3回/年(わらべ歌で遊びましよう、親子で遊びトレーニング、親子で元気体操) 育メン広場 1回/月(手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等) プレママプレパパ広場 20回/年	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	パパ講座、育メン広場などの講習会等を実施し、親子での触れ合いのきっかけづくりやパパ同士の交流の場、情報交換の場を提供することで、男性の家事、育児への参画を促すことができた。コロナ禍での利用人数制限や利用者の外出控え等の要因もあり、参加人数は少なくなっている。						
C 総評から見えてきた課題	より多くの男性が参加するよう情報発信の強化や参加意欲の高まる講習会の開催が必要。						
施策の進捗度	・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成)					B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止					継続(拡充)	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	効果的な広報や男性の興味のわく内容の講習会の実施を検討する。						

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	健康推進課				
施策	(3)	家庭的責任をともに担うための環境の整備					
取組	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	24	男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。					
	夫婦でのパパママ教室参加率						90%以上
指標実績		94%	94.3%	93.2%	94%	98%	
D 施策の実績		パパママ教室べんきょう編では201名、たいけん編では113名の夫が参加しました。	パパママ教室に参加した妊婦297名のうち、べんきょう編196名+たいけん編84名が夫婦での参加がありました。べんきょう編、たいけん編については、新型コロナウイルス感染症対策のためそれぞれ1回ずつ中止となりました。	パパママ教室べんきょう編 164名の夫の参加あり(妊婦176人中)。新型コロナウイルス感染症対策のため、実施方法・内容を見直し、令和2年度からたいけん編を中止した。	パパママ教室べんきょう編に264人の夫の参加があった(妊婦281人中)。感染症対策を徹底し、安心・安全に受講できるよう努めた。母子手帳アプリ「あんびよ」で発信している動画を夫婦で見ながら参加してもらえよう促した。	パパママ教室べんきょう編に214人の夫の参加があった(参加家庭219組中)。感染症対策を徹底し、安心・安全に受講できるよう努めた。母子手帳アプリ「あんびよ」で予約状況が確認でき、予約ができるようにしたため、参加しやすくなったと思われる。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	土曜日開催を増やしたことや母子手帳アプリ「あんびよ」を使っでの予約が影響し、父親が参加しやすくなったり申し込みしやすくなったと思われる。					
C 総評から見えてきた課題	平日開催日の予約者が少ないため、ニーズを把握し、平日開催の回数等を検討していく。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、男性の家事・育児参加に向けた学習機会を提供していく。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	生涯学習課			
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の整備						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具 体的 な 指 標	24	男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。					
	男性の参画を促進するための講座実施数	→					18講座
D 指 標 実 績		25講座	29講座	12講座	33講座	30講座	
D 施 策 の 実 績		土日に親子で参加できる講座等、働き盛りの男性も参加しやすい講座を多数開催した。また、男性向け視点の講座やライフマネジメント講座等、男女が家庭的責任をともに担うための講座を開催した。	土日に参加できる講座や夜間の講座等、働き盛りの男性も参加しやすい講座を多数開講した。また、土日に親子で参加できる講座を開催し、男性が育児に参画しやすいようにした。	4月～9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座開催を中止し、10月以後再開した。土日開催の講座は例年通りの割合で開催することができた。	土日に参加できる講座や夜間の講座等、働き盛りの男性も参加しやすい講座を多数開講した。また、土日に親子で参加できる講座を開催し、男性が育児に参加しやすいようにした。	土日に参加できる講座や夜間の講座等、働き盛りの男性も参加しやすい講座を多数開講した。また、土日に親子で参加できる講座を開催し、男性が育児に参加しやすいようにした。	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	土日に参加できる講座や夜間の時間帯に講座を開催し、働き盛り世代の男性も参加しやすい講座を多数開講した。また土日に親子で参加できるものづくり講座などを開催することによって、子供と男性(お父さん)での親子参加者が多く見られ男性の育児への参画を促進するための学習機会の提供につながったと思う。					
C 総評から見えてきた課題	男性でも参加しやすい講座タイトルや講座内容に工夫しながら学べる機会の提供をする必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6～10に実行していく具体的な施策方針	男女が家庭的責任を共に担うため、男性の家事、育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	市民協働課			
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な No	25 子育て世代の男性が、家事・育児等の両立に配慮した働き方を認識することで、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活をするようになる。					
	指標	ワーク・ライフ・バランスについての啓発回数 					
	指標実績	2回	2回	2回	3回	2回	
D	施策の実績	①チャレンジ！男女が輝く職場づくり～安城市男女共同参画情報パンフレット～に情報を掲載し、市内企業900社へ配布した。 ②新入庁職員研修にてワーク・ライフ・バランスを啓発した。	①チャレンジ！男女が輝く職場づくり～安城市男女共同参画情報パンフレット～を商工会議所で開催された研修で配布した。 ②新規採用職員研修会用の資料にてワーク・ライフ・バランスを啓発した。	①情報誌で企業インタビューを掲載し、ワーク・ライフ・バランスを啓発した。 ②新規採用職員研修会用の資料にてワーク・ライフ・バランスを啓発した。	①新規採用職員研修会やユースカレッジ受講生への講義でワーク・ライフ・バランスを啓発した。 ②男女共同参画月間イベントでワーク・ライフ・バランスをテーマに講演会を開催した。	①新規採用職員研修会の講義でワーク・ライフ・バランスを啓発した。 ②情報誌に産後/パパ育休の情報を掲載した。	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	新規採用職員研修やユースカレッジなど若い世代、及び企業へワーク・ライフ・バランスの啓発を実施できた。						
C	総評から見えてきた課題	企業が社員に展開しているかどうか不明である。					
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A	本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
	(継続の場合) R6～10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、若い世代及び企業に、ワーク・ライフ・バランスの啓発を実施する。企業に対して社員への啓発を実施するよう促す。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	商工課			
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容	25 仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。					
	指標	働き方に関する広報・啓発の実施回数 →					
D	指標実績	8回	5回	7回	11回	5回	
	施策の実績	<p>平成30年10月10日(水)アンフォーレ多目的室にて、愛知県と共催で「イクボス養成セミナー」と題して、榊デンソーの人事部の方を講師として招き、企業が持続的に成長していくため、ライフイベントを超えて、女性が生き生きと活躍できる環境や組織実現に向けた取り組みについての講演を行った。それ以外に、愛知県産業労働部労政局からの「あいちワークライフ・バランス推進運動2018」への協力チラシを配布するなど、働き方改革を進める中で、子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進などの周知を実施した。</p> <p>チラシの配布を行い制度理解を促進した。</p> <p>チラシの配布を行い制度理解を促進した。</p> <p>チラシの配布を行い制度理解を促進した。</p> <p style="background-color: #c8e6c9;">チラシの配布を行い制度理解を促進した。</p>					

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	チラシの配布を行い制度理解を促進することができた。						
C	総評から見えてきた課題	中小企業の各種制度構築にあたり、支障となる課題等の把握					
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)	
A	〈継続の場合〉R6～10に実行していく具体的な施策方針	チラシの配布を通じた、制度の啓発		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	市民協働課			
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	働き方の見直しのための啓発						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	26	企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。					
	有給休暇・ノー残業デー制度等の啓発回数						
指標実績		1回	1回	1回	1回	1回	
D 施策の実績		チャレンジ！男女が輝く職場づくり～安城市男女共同参画情報パンフレット～(企業版)に情報を掲載し、市内企業900社へ配布した。	チャレンジ！男女が輝く職場づくり～安城市男女共同参画情報パンフレット～を商工会議所で開催された研修で配布した。	企業インタビューを掲載した、男女共同参画情報誌を商工会議所に配布した。	愛知労働局主催の改正育児・介護休業法をテーマとする企業向けセミナーのチラシを商工会議所に配布した。	産後/パパ育休を掲載した男女共同参画情報誌を商工会議所に配布した。	

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	現状にあった情報を、企業へ発信することができた。		
C 総評から見えてきた課題	企業が社員に展開しているかどうか不明である。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 		A

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6～10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、企業に対して社員への働き方の見直しの啓発を促す。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属 商工課				
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	働き方の見直しのための啓発						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	26 企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。					
	指標	県下一斉ノー残業デーの啓発回数					1回
	指標実績	1回	2回	3回	4回	2回	
D	施策の実績	愛知県産業労働部労働局からの「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2018」への協力チラシを配布し、県内一斉ノー残業デーへの啓発に取り組んだ。		愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図った。		愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図った。	
		愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図った。		愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図った。		愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図った。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図ることができた。					
総評から見えてきた課題	継続した周知					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	有給休暇取得を促す、ポスターチラシによる啓発					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	市民協働課			
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	女性活躍推進のための講座などの開催						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具体的 内容	27	女性活躍推進のために職場環境を考える講座などを開催する。					
		→ 20人					
指標	女性活躍推進のための講座の受講者数						
指標実績		10人	15人	15人	16人	20人	
D 施策 の実績		「新しい私」発見講座の中で話し合いを実施した。	「新しい私」発見講座の中で話し合いを実施した。	子育て世代の若い女性が参加した、エンパワメント講座の中で話し合いを実施した。新型コロナウイルス感染防止のため、定員を20人から15人にした。	子育て世代の若い女性が参加したエンパワメント講座の中で話し合いを実施した。	多様な世代の女性が参加したエンパワメント講座の中で話し合いを実施した。	



第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	R3年度より講座内容を検討したことにより、エンパワメントを高める講座内容となった。					
C 総評から見えてきた課題	受講後に市政や施策に関わる審議会等への参加を促す必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				A	



次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				廃止	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	「1(2)男女共同参画に関する学習機会の提供 No.5人材育成のための講座等の開催」で実施する内容の為、No.5の取組と統合する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践		子育て支援課			
施策	(3)	家庭的責任をともに担うための環境の整備					
取組	子育て家庭への支援の充実						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	28 地域子育て支援拠点事業を充実し、子育てへの不安解消の手助けをする。					
	指標	子育て支援センター、つどいの広場利用人数					85,000人
	指標実績	108,986人	88,631人	28,486人	40,515人	46,000人	
D	施策の実績	子育て支援センター5か所(子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など) つどいの広場4か所(親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供)		子育て支援センター5か所(子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など) つどいの広場4か所(親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供)		子育て支援センター5か所(子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など) つどいの広場4か所(親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供)	
		子育て支援センター5か所(子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など) つどいの広場4か所(親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供)		子育て支援センター5か所(子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など) つどいの広場4か所(親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供)		子育て支援センター5か所(子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など) つどいの広場4か所(親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供)	



第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	子育て支援センター及びつどいの広場の開設により、子育て親子の交流の機会や相談できる場所が提供でき、子育てへの不安を解消する手助けをすることができた。コロナ禍による影響や出生数の低下、保育園入所の低年齢化により利用人数は伸び悩んでいる。					
C 総評から見えてきた課題	現利用者層に対応した玩具の提供や講習会等を実施していくことが必要。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 					B



次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	変化する利用者層に合った施設環境やニーズに沿った講習会等の開催を検討する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	3	男女共同参画社会の実践	担当所属	生涯学習課			
施策	(3)	家庭の責任をともに担うための環境の整備					
取組	女性のライフプランニング支援						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具体的 内容	29	積極的な社会参画を目指す女性をはじめ、女性が充実した生活を送るための講座を開講する。					
		→ 1回					
D 指 標 実 績	女性が充実した生活を送るための講座実施数	8回	9回	4回	10回	8回	
	施策の実績	コミュニケーション講座やアンガーマネジメント、経済講座、共働き家庭が多くなってきた今日注目されている収納講座等、女性が充実した生活を送るための多種多様な講座を開講し、好評であった。	コミュニケーション講座や話し方講座等、女性が充実した生活を送るための多種多様な講座を開講し、好評であった。	4月～9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座開催を中止し、10月以後再開した。土日開催の講座は例年通りの割合で開催することができた。	女性が充実した生活を送るための多種多様な講座を開講し、好評であった。	資産運用の基礎知識講座や気持ちが伝わる話し方講座、女性のお悩み解消講座など女性が充実した生活を送るための多種多様な講座を開講し、好評であった。	

第4次プラン(H30～R5)の総括

C	総評	女性のライフプランニング支援を目的とした講座については、講座対象を「18歳以上の女性」と記載したり、講座タイトルに「女性のための」という表現を使用することで女性の講座参加推進に努めた。					
	総評から見えてきた課題	女性の社会参画が多様化しているため、ニーズに応じた講座企画を進める必要がある。					
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A	本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)
	〈継続の場合〉R6～10に実行していく具体的な施策方針	今後も女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。				

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備 担当所属 市民協働課					
施策	(1)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組		地域団体や組織等に対する男女共同参画に関する情報・学習機会の提供					
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
取組内容的な	30	町内会などの各地域における地域団体や組織などへ積極的に男女共同参画を働きかける。					
P 指標	① 町内会長に就く女性の割合	→					10%
D 指標実績		2.5%	4.9%	1.2%	2.5%	3.7%	
P 指標	② 町内会等への啓発回数	→					2回
D 指標実績		3回	3回	2回	2回	2回	
D 施策の実績		全町内会へ「私たちが実現する男女共同参画社会～安城市男女共同参画啓発パンフレット～」(市民版)」を配布した。男女共同参画週間イベント、男女共同参画セミナーを啓発した。	①町内会長に就く女性の割合(女性数4名/町内会長総数81名) ②まちかど講座を実施、男女共同参画週間イベントを啓発、男女共同参画セミナーを啓発した。	①町内会長に就く女性の割合(女性数1人/町内会長総数81人) ②男女共同参画月間イベント及び男女共同参画サテライトセミナーを啓発した。	①町内会長に就く女性の割合(女性数2人/町内会長総数81人) ②男女共同参画週間イベント及び男女共同参画セミナーを啓発した。	①町内会長に就く女性の割合(女性数3人/町内会長総数81人) ②男女共同参画週間イベント及び男女共同参画サテライトセミナーを啓発した。	



第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	町内会長に就く女性の割合が、ほとんど変化がなく改善されていない。町内会へイベント等の啓発ができた。					
C 総評から見えてきた課題	町内会長に女性が就くように、より効率的な啓発を行う必要がある。イベント参加につながったかどうか不明である。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					C

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉R6～10に実行していく具体的な施策方針	町内会長に就く女性の割合が増えるような啓発を行う。引き続き、イベント等の啓発を行う。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標		4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				危機管理課	
施策		(1)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組		防災活動における男女共同参画の推進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
P D P D	取組内容的な	31	防災会議などへの女性委員の登用や、女性の視点から考えられる避難所の備蓄品整備を推進する。					
	指標	① 女性の視点に配慮した備蓄品の配備						配備完了
	指標実績		備蓄品の購入	備蓄品の購入	備蓄品の購入	備蓄品の購入	備蓄品の購入	
	指標	② 防災会議の女性の登用率						30%
	指標実績		14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	
D	施策の実績		計画通り、女性の視点に配慮した備蓄品を全て購入した。防災会議において、2名の女性委員の登用を図り、女性の意見を反映できる環境を整えた。	購入した備蓄品の配備を進めた。防災会議において、4名の女性委員の登用を図り、女性の意見を反映できる環境を整えた。(登用率: 女性数4名/全委員数29名)	①購入した備蓄品の配備を進めた(ランタン、消臭剤、ウェットティッシュ等)。 ②防災会議において、令和元年度と同様に4名の女性委員の登用を図り、女性の意見を反映した。	①購入した備蓄品の配備を進めた(サンタリーボックス用ビニール袋等)。 ②防災会議の女性登用率の改善を図るため、委員を選出している各団体に対し、女性委員の選出を依頼した。		

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	防災会議は、委員を選出している各団体に女性委員の選出を依頼し、女性委員の登用率が改善した。備蓄品の配備については、順次調達し各避難所等への配備を進めた。						
C 総評から見えてきた課題	防災会議は、各団体から委員を選出しており、団体の役職者が男性の場合は女性の登用率が上がらない。備蓄品として必要なものについて女性目録でのリスト化ができておらず、購入計画を立てられていない。						
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 					B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	防災会議は、引き続き女性委員の登用を図り、登用率の改善を検討していく。女性目録での備蓄品の検討を行い、順次購入を行っていく。						

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備 担当所属 市民安全課					
施策	(1)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組		女性を狙う犯罪から身を守るための講座の開催					
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具体的 内容	32	女性を狙う犯罪から身を守るため、防犯教室などの講座を開催し、防犯に対する意識の向上を図る。					
	指標	女性対象防犯教室の参加者数(累計)					1,940人 (1,673人)
D 指標 実績	指標実績	1,400人	1,502人	1,502人	1,617人	1,707人	
	施策の実績	平成30年12月4日(火) 不審者等侵入対策研修会(さすまた講習会)開催	令和元年8月27日(火) 不審者等侵入対策研修会(さすまた研修会)開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。さすまたの使い方について、職員に向けて情報提供を行った。	令和3年12月17日(金)に東祥アリーナ安城にて開催。	令和4年12月16日(金)に東祥アリーナ安城にて開催。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	不審者等侵入対策研修会(さすまた講習会)を開催し、防犯に対する意識の向上に努めた。さすまたの正しい使用方法、メリット・デメリットなどを指導することができた。					
C 総評から見えてきた課題	さすまたを所持していない際など、様々な場面で役立つ不審者への対応を指導することが必要。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 					B

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(拡充)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	不審者等侵入対策研修会(さすまた研修会)の開催に合わせ、さすまたを所持していない場合の対応についても講習することによって様々な場面で不審者等へ対応することができるように検討する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組	男女共同参画に取り組む市民活動団体の育成						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な 指標	33	様々な団体と連携し、男女共同参画の趣旨を理解し男女共同参画の視点で活動する団体を増やす。				
	指標	男女共同参画の活動も行う団体数	→ 32団体				
D	指標実績	33団体	34団体	32団体	32団体	31団体	
	施策の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動補助金の行政提示型「男女共同参画を啓発するもの」として2団体が受託し、市民協働課と協働して事業を実施した。 ・町内会へ男女共同参画の情報提供を実施した。 ・市民活動団体へ、男女共同参画に関するイベントの案内や情報誌を配布した。 ・男女共同参画の推進に取り組む団体に市民活動補助金を交付した。 					

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	町内会や市民活動団体へ男女共同参画に関するイベントの案内や情報誌を配布し啓発できた。男女共同参画の推進に取り組む団体に市民活動補助金を交付できた。					
C	総評から見えてきた課題	それぞれの団体の取組の中で、男女共同参画の視点で活動することを促す必要がある。				
D	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A	本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	継続(現状維持)
	〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	団体の育成ではなく、町内会や市民活動団体が男女共同参画の趣旨を理解し、それぞれの分野の取組の中で男女共同参画を促進するよう啓発をする。	

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備	健康推進課				
施策	(2)	性差を踏まえた健康づくりの推進					
取組	妊娠や出産に関する健康支援の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具 体的 内 容 な	34	子どもを望む夫婦を支援するため不妊治療費の助成を行う。また、妊産婦健康診査の実施にあたり、受診しやすいように妊産婦健康診査費の助成を行う。					
		95%以上					
D 指 標 実 績	妊娠11週までの妊娠届出率	96.4%	95.4%	96.0%	96.7%		
	施策の実績	不妊治療：申請件数283件 助成金額8,875,000円(H30) 妊婦健診：一人当たり、妊婦健診14回、産婦健診1回を助成	妊娠11週までの妊娠届出率(妊娠11週までの届出数1,706件/全届出数1,788件) 不妊治療費助成申請数300件 助成金額9,307,000円 妊産婦健康診査費助成延人数24,332人	不妊治療費の助成：申請数331件 助成金額10,944,000円 ・国や県の動向に合わせ、対象者や助成期間について見直し次年度に向け要綱改正をした。 妊産婦健康診査費の助成を実施。 ・次年度に向け、受診票単価について妊婦乳児健康診査に関する協議会において協議決定された金額に変更準備。	不妊治療費の助成：申請件数352件 助成金額 11,560,000円 ・令和4年4月から不妊治療の一部が保険適用になることを受け、次年度の助成方法について検討した。 妊産婦健康診査費の助成： ・令和3年4月から多胎妊婦へ妊婦健康診査5回分を追加交付し、健康診査費用の負担軽減を図った。	不妊治療費の助成：申請件数350件 助成金額 9,600,000円 ・一般不妊治療が概ね保険適用になったものの、治療継続による経済的負担を軽減するため費用助成を継続。 ・妊産婦健康診査費の助成を継続実施。次年度に向け、産後早期に要支援者を把握し、支援に繋げるため、産婦健康診査の費用助成回数拡大を検討。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	不妊治療費の助成については、申請件数は年々増加し、多くの夫婦へ経済的な支援ができた。妊産婦健康診査の費用助成については、令和3年度より多胎妊婦へ妊婦健康診査5回分を追加交付することで、支援が必要な方がより受診しやすい環境づくりができた。					
C 総評から見えてきた課題	妊娠11週までの妊娠届出率は高い水準で維持することができており、今後も安心して妊娠や出産を迎えることができる体制を整えていく。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
<継続の場合> R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き妊産婦健康診査の費用助成を実施し経済的負担を軽減することで、妊産婦健康診査を受診しやすくし、安心安全な妊娠出産につながるよう支援する。 【意見】実施内容は継続(現状維持)していくが、数値指標が実際とつながらないため、次期プランでは取り組み内容の実施を文書表現にとどめていく。さらに不妊治療の経済的負担の軽減が、安心安全な妊娠出産とは相違があるため、取り組み内容としては外していく。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備	健康推進課				
施策	(2)	性差を踏まえた健康づくりの推進					
取組	男女特有の疾病に対する予防支援						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 指 標	35	各種がん検診の実施や保健指導・健康教育などを通じ、性差に応じた健康課題に対する予防支援を行う。					
		28%					
D 指 標 指 標 実 績		17.0%	26.6%	25.6%	25.0%	25.0%	
		乳がん検診受診率 $= \frac{\text{分子: 国保加入者 (H30受診者数 + H31受診者数 - 2年連続受診者数)} / \text{分母: 国保加入者 (女性40~69才)}}{(2,014名 + 2,040名 + 1,412名) / 9,689名}$ 乳がん検診の受信推奨やはがきに早期発見の必要性を盛り込み、がん検診の必要性を周知に努めた。 乳幼児健診会場にチラシやポスターを設置し乳がん自己検診法の周知に努めた。		子宮頸がん検診について、離乳食講習会の場での周知や4か月児健診案内送付時の封筒に啓発チラシを同封し周知することで受診勧奨を実施。 特定の年代に対し、がん検診の受診勧奨のはがきを個人通知することで受診勧奨に努めた。		特定の年代に対し、がん検診の受診勧奨はがきを個人通知することで、受診勧奨に努めた。 特定の年代に対し、がん検診の受診券送付のためのシステム構築、安城市医師会との協議を行った。 国保加入者に対し、がん検診の受診券を個別に送付した。 特定の年代に対し、がん検診の受診勧奨はがきを個人通知することで受診勧奨に努めた。 離乳食講習会の場を利用し、子宮頸がん検診の必要性の周知を行った。 乳幼児健診会場にチラシ、ポスターを設置し、乳がん自己検診法の周知を行った。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	新型コロナウイルス感染症の影響で、受診率が伸び悩んでいるものの、大幅な受診率減少はなく経過している。ポピュレーションアプローチに加え、個別通知をすることで啓発を行うことができた。受診券発行に伴い、保健センターに連絡しなくても受診券を利用して受診することができる体制を整えることができた。		
C 総評から見えてきた課題	受診券発行による効果を検証しながら、受診勧奨の対象を検討し、効果的な受診勧奨をしていく必要がある。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 		B

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	効果的な受診勧奨など、引き続きがん検診の受診率向上に努める。 【意見】実施内容は継続(現状維持)していくが、数値指標が実際とつながらないため、次期プランでは取り組み内容の実施を文書表現にとどめていく。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備						担当所属	保育課
施策	(3)	参画を助ける環境の整備							
取組		通常教育・保育事業の推進							
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
取組内容的な	36	「安城市子ども・子育て支援事業計画」に基づき保育所における受入体制を整備する。							
P 指標	保育園等への入園申込をした児童のうち、どこにも入園できなかった児童の人数(再掲)							0人	
指標実績		19人	5人	1人	0人	0人			
D 施策の実績		保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行った。	保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行った。	保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行った。また、令和4年度開園予定の新園の民間事業者を決定した。	保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行い、令和4年度開園の新園設立の準備を行った。また、令和5年度開園予定の新園の民間事業者を決定した。	保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行った。令和5年度開園予定の新園の準備を行った。			

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	コロナ禍の影響により新園の開園が計画より遅れたが、概ね計画通りに受入体制を整備できた。		
C 総評から見えてきた課題	新園の開園による受入体制の整備は完了したため、保育の需要に合った十分な保育士確保やゆとりある保育を目指す必要がある。また、低年齢児の育休退園など、入園制度についても見直しが必要。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 		A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		完了
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針			

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備 担当所属 保育課					
施策	(3)	参画を助ける環境の整備					
取組		一時預かり事業、時間外保育事業、病児・病後児保育事業等の充実					
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	働く男女を支援するため、一時保育、休日保育、延長保育、病児・病後児保育などの各種保育・子育て支援サービス事業を推進する。					
	指標	一時:10園 休日:2園 延長:32園 病児・病後児:1園					
	指標実績	一時:10園 休日:2園 延長:32園 病児・病後児:1園	一時:11園 休日:2園 延長:36園 病児・病後児:1園	一時:11園 休日:2園 延長:36園 病児・病後児:1園	一時:11園 休日:2園 延長:36園 病児・病後児:1園	一時:11園 休日:2園 延長:38園 病児・病後児:1園	
D	施策の実績	平成31年度開園のブライト保育園及び妻のうさぎ保育園と一時保育、延長保育の実施について調整した。	令和元年度開園のブライト保育園及び妻のうさぎ保育園の一時保育、延長保育を実施した。安城幼稚園及びさくらの幼稚園がこども園となり、保育園コースの延長保育を実施した。	令和4年度開園予定の新園について、延長保育を実施できる民間事業者が決定した。ただし、一時保育の実施については未定。	令和4年度開園の新園で延長保育を実施できるよう調整した。令和5年度開園予定の新園について、延長保育を実施できる民間事業者が決定した。ただし、一時保育の実施については未定。	令和4年度開園のスマイリーこども園さとまちと認定こども園移行のほんぎ幼稚園の延長保育を実施した。また、新たに病児・病後児保育を実施する民間事業者に補助を行った。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	順調に実施園を増やしていくことができた。					
総評から見えてきた課題	一時保育等をより利用しやすい仕組みにする必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	時間外保育や一時保育の需要を見極めて必要があれば子育て支援サービス拡充を継続していく。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備	子育て支援課				
施策	(3)	参画を助ける環境の整備					
取組	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)の推進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
取組内容的な	38	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)の推進					
	P 指標	① 児童クラブへの入会申込をした児童のうち、どこの児童クラブにも入会できなかった児童の人数					
	D 指標実績	0人	2人	2人	0人	9人	0人
	P 指標	② 児童クラブ入会登録児童数					
	D 指標実績	2,077人	2,146人	2,148人	2,146人	2,346人	2,000人
D 施策の実績	公営 47施設 定員1965人 利用1958人 民間 4施設 定員146人 利用119人 公営 48施設 定員2000人 民間 4施設 定員146人 【令和2年4月1日現在】 公営 52施設 受入2027人 民間 4施設 受入121人。 【令和3年4月1日現在】 公営 56施設 受入2,050人 民間 3施設 受入96人。 【令和4年4月1日現在】 公営 57施設 受入2,257人 民間 3施設 受入89人。						

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	公営施設数の増加、登録児童数の増加を図ることができた。1つの小学校で待機児童が出たものの、今後の施設拡大計画により解消が想定されるため、順調に進捗できている。		
C 総評から見えてきた課題	登録児童数は増加しているが、今後は児童数の減少が見込まれるため、施設規模は現状維持でよいが、児童支援員が慢性的に不足しているため、人材確保を図る必要がある。また、保護者の就労形態の多様化に伴う事業展開の検討が必要。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 		A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
A <継続の場合> R6~10に実行していく具体的な施策方針	安定的な運営のための人材確保を図り、就労形態の多様化に対応した児童クラブの運営を推進する。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	4	男女の自立と共生・参画を進める環境の整備	人事課				
施策	(3)	参画を助ける環境の整備					
取組	市職員における介護離職ゼロに向けた取組の推進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	39 市職員における、高齢化の進行に伴う介護離職等を防止するため、介護休業制度の定着を促進する。					
	指標	介護休暇制度の周知回数					
D	指標実績	1回	1回	2回	3回	3回	
	施策の実績	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、積極的に職員へ制度を周知した。	介護休業制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し、積極的に職員へ制度を周知した。	①介護休暇制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し周知した。 ②新規採用職員への勤務概要説明時に介護休暇制度について説明し周知した。	①介護休暇制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し周知した。 ②新規採用職員への勤務概要説明時に介護休暇制度について説明し周知した。 ③職員共有サイトに申請様式を掲載するとともに、制度の概要説明を記載し周知した。	①介護休暇制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトに掲載し周知した。 ②新規採用職員への勤務概要説明時に介護休暇制度について説明し周知した。 ③職員共有サイトに申請様式を掲載するとともに、制度の概要説明を記載し周知した。	



第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	制度の概要についての周知は概ねできており、必要なケースについては介護休暇等の取得をしている。						
C	総評から見えてきた課題	より制度の理解を進めるような周知方法の検討。					
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				達成	



次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A	本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				完了	
	〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	現行プランで完了とするが、今後も継続的に情報を発信し続け、周知徹底をする。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備					
取組	LGBTなど、多様な性に関する理解促進						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
取組内容的な	40	性的少数者(LGBTなど)に対する理解を深めるための啓発を行う。					
	指標	市民向け啓発回数	→				2回
指標実績		7回	7回	6回	7回	6回	
D 施策の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい私」発見講座の受講生に啓発 ・男女共同参画週間イベントにてLGBTの講演を実施/講師:特定非営利活動法人ASTA ・広報あじょう7月15日号にてLGBTの記事を掲載 ・男女共同参画月間イベントにてトランスジェンダーが主人公の「彼らが本気で編むときは、」を上映 ・市内年少児の保護者全員にLGBTのリーフレットを配布 ・公立保育園・幼稚園の園長会にて研修を実施 ・職員向けにLGBT研修を実施(60名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい私」発見講座の受講生に啓発 ・男女共同参画セミナーにてLGBTの講演を実施 ・市内年少児及び3歳児の保護者にLGBTのリーフレットを配布 ・中学3年生にLGBTIに関する内容を含むリーフレットを配布 ・職員向けにLGBT研修を実施(97名参加) ・新規採用職員に資料を配布 ・男女共同参画のイベントでLGBTに関するリーフレットを配布 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向け ・エンパワーメント講座の受講生に啓発 ・男女共同参画月間イベントにてLGBTの講演を実施 ・3歳児の保護者にLGBTのリーフレットを配布 ・中学3年生にLGBTIに関する内容を含むリーフレットを配布 職員向け ・職員向けにLGBT研修を実施(85人参加) ・新規採用職員に資料を配布 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向け ・エンパワーメント講座の受講生に啓発 ・男女共同参画週間イベントにてLGBTの講演を実施 ・3歳児の保護者にLGBTのリーフレットを配布 ・中学3年生にLGBTIに関する内容を含むリーフレットを配布 職員向け ・職員向けにLGBT研修を実施(84人参加) ・園長会にてLGBTIに関する内容を含む研修を実施 ・新規採用職員に研修を実施 		

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	市民や職員向けに理解促進の啓発活動ができた。					
C 総評から見えてきた課題	継続的な啓発活動が必要である。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、市民向けイベントや職員向け研修会等でLGBT理解促進の啓発活動を実施する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備					
取組	あらゆるハラスメントの防止に向けた啓発						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	41 様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。					
	指標						
	指標実績	市公式ウェブサイト	啓発・研修を実施	啓発・研修を実施	啓発・研修を実施	啓発・研修を実施	
D	施策の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市公式ウェブサイト等に様々なハラスメント及びDVの基礎知識及び相談先を掲載した。 ・広報あじょう11月1日号に女性を暴力から守る週間の記事を掲載した。 ・イベント開催時に、デートDVについてマンガで掲載した安城市男女共同参画パンフレットを参加者に配布した。 ・女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あじょう11月1日号に女性を暴力から守る週間の記事を掲載した。 ・中学3年生にデートDVについてや性の多様性などの理解を深めるリーフレットを配布した。 ・女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布した。 ・DV職員研修を実施した。(55人参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学3年生にデートDVについてや性の多様性などの理解を深めるリーフレットを配布した。 ・女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布した。 ・DV職員研修を実施した。(52人参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学3年生にデートDVについてや性の多様性などの理解を深めるリーフレットを配布した。 ・女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布した。 ・DV職員研修を実施した。(53人参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あじょう8月号でジェンダー平等、10月号に性の多様性の記事を掲載した。 ・中学3年生にデートDVについてや性の多様性などの理解を深めるリーフレットを配布した。 ・女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布した。 ・DV職員研修を実施した。(52人参加) ・図書館でリーフレットと関連図書を設置し啓発した。(6月・10月) 	

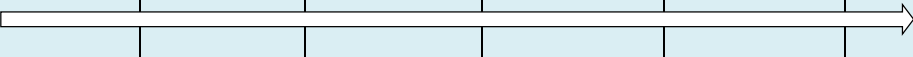
第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	広報紙やリーフレット配布で、様々なハラスメントや人権侵害問題について啓発できた。職員向けの研修を実施しDV防止の周知ができた。					
総評から見えてきた課題	ハラスメント等を受けている人が相談できているか把握できていない。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について啓発する。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民相談係				
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	あらゆるハラスメントの防止に向けた啓発							
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
P	取組内容的な	41 様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
	指標							
D	指標実績	—	—	—	—	—	—	
	施策の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校人権教室(1校)中学校人権ライブ(1校)実施 ・七夕啓発(1回)実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権教室 小学校6校実施 ・人権ライブ 中学校1校実施 ・街頭啓発 七夕会場で実施 		<ul style="list-style-type: none"> 安祥文化のさとまつり会場(市民ギャラリー内)にて、マスクを着用しながら、冊子等の啓発用品配布型啓発活動を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域人権啓発活動活性化事業(県からの委託事業)の一環として、市内の4中学校(安城南中・東山中・安祥中・篠目中)で「人権講演会」を、1小学校(安城西部小)で「人権の花運動」集会を開催した。 安祥文化のさとまつり会場(市民ギャラリー内)にて、マスクを着用しながら、冊子等の啓発用品配布型啓発活動を実施した。

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	市人権擁護委員と共に、定期的な啓発活動に努めた。特に令和4年度は、県委託事業の一環で(委託金の交付を受けて)、市内の小中学生を対象とした啓発活動を多数実施することができた。						
総評から見えてきた課題	引き続き、様々な方法で市民への啓発を図る必要がある。令和4年度で実施したような、若年層への人権啓発が、事業効果としては高いと考えるが、恒久的な予算化が難しい。						
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)	
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	安祥文化のさとまつり等、様々な機会をとらえて、市民への人権啓発活動を継続して実施する。新型コロナウイルス感染症防止への配慮が不要になれば、以前実施していた、小中学校での人権教室等の復活に向けて、市人権擁護委員と協議していきたい。						

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	商工課			
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備					
取組	あらゆるハラスメントの防止に向けた啓発						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 具体的 内容	41	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。					
	指標						
D 施策 の実績	指標実績	0回	2回	4回	5回	5回	
	施策の実績	事業主からの情報提供があれば、啓発を実施する準備を進める。	チラシの配布を行い制度理解を促進した。	チラシの配布を行い制度理解を促進した。	チラシの配布を行い制度理解を促進した。	チラシの配布を行い制度理解を促進した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	チラシの配布を行い制度理解を促進することができた。					
C 総評から見えてきた課題	継続した周知					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	チラシの配布を通じた、制度の啓発					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	学校教育課				
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備					
取組	あらゆるハラスメントの防止に向けた啓発						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	41	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。					
	教職員向け研修会への参加者割合						
指標実績		25%	29%	0%	23%	18%	
D 施策の実績		<p>県主催の研修会を各学校へ啓発し、教職員の約25%が参加した。</p>	<p>県主催の研修会を各学校へ啓発し、約150人が参加した。各学校での講演会に、約140人が参加した。 (150人+140人) / 市内教職員約1,000人</p>	<p>例年、県主催の研修会や、各学校主催の講演会に参加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、すべて研修会等が中止になり参加することができなかった。</p>	<p>県主催の研修会に新任校長8名、新任教頭8名、中堅教員93名、新任教員33名の計140名が参加した。また、長期休業中に研修会を実施し、教務主任、校務主任、養護教諭、希望者の91名が研修会に参加した。 (教職員1,000人中231人)</p>	<p>県主催の研修会に新任校長5名、新任教頭7名、中堅教員67名、新任教員43名の計122名が参加した。また、長期休業中に研修会を実施し各校2名の教諭58名が研修会に参加した。 (教職員1,000人中180人)</p>	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	年度当初、年度途中に、全教職員に対してハラスメントや人権侵害問題の防止に関する啓発、研修会を実施した。		
C 総評から見えてきた課題	毎年、定期的にハラスメントを含めた人権侵害問題等について啓発する必要がある。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 		A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	ハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民協働課			
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備					
取組	様々な相談事業の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	42 女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。					
	指標	DV相談の相談件数					
	指標実績	0件	1件	0件	0件	0件	—
D	施策の実績	今年度は、単身者からの相談がなかったため、市民協働課での対応実績はなかった。関係部署間の連携が図れるよう庁内DV会議を開催した。	住民基本台帳の閲覧制限についての相談あり。	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を書面開催した。	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を開催した。	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を開催した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	庁内で情報共有して、相談がある時に適切に対応することができた。					
C 総評から見えてきた課題	どのような相談も迅速に対応できるよう、情報共有が必要。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(拡充)
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、庁内で情報共有をし、市民団体とも連携して相談窓口などの情報提供を行う。「No.44DV被害者の早期対応を行う」、「No.46DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う」の取組を包含する内容ため統合する。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民相談係			
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備					
取組	様々な相談事業の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	42 女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。					
	指標	女性相談の相談件数					
	指標実績	80件	79件	69件	87件	84件 (11月末現在)	
D	施策の実績	女性相談51回実施	女性相談51回実施。	緊急事態宣言発令に伴い7回中止したため、年間44回実施した。	年間を通して(毎週水曜日)、相談窓口を計49日開設した。 1日あたり相談件数1.78件(令和元年度1.55件/日、令和2年度1.56件/日)	年間を通して(毎週水曜日)、相談窓口を計49日開設予定。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	定期的な相談窓口の開設により、多くの市民が利用された。 昨今は(DVを含む)男女関係の相談や離婚の相談が増加しており、相談しやすい環境を整えて、適切に対応できた。					
総評から見えてきた課題	引き続き、様々な方法で市民への周知を図る必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、定期的に女性相談を実施する。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	子育て支援課				
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備					
取組	様々な相談事業の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
取組内容的な P	42	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。					
P 指標	① 母子相談の相談件数						
	D 指標実績	1,137件	907件	870件	1,062件	900件	—
P 指標	② 子育て相談の相談件数						
	D 指標実績	152件	154件	107件	100件	100件	—
P 指標	③ DVや児童虐待に関する相談						
	D 指標実績	117件	69件	41件	34件	40件	—
D 施策の実績		ひとり親家庭への相談、子育て相談件数は増えている	件数については増減があったが、相談、助言、指導できる体制はとれた。	件数については減少となったが、相談、助言、指導できる体制はとれた。	外国人向けの児童虐待防止チラシを6か国語(日本語・英語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語・フィリピン語(タガログ語))で作成し、ホームページに掲載した。	子ども家庭総合支援拠点を開設し、職員の増員を図るなど、相談等の体制を強化した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	各種相談に対して、適切に対応することができた。					
C 総評から見えてきた課題	相談体制が整っているにもかかわらず、相談件数が減った場合については、必ずしも悪い傾向とは言えない場合もあるため、原因を慎重に見極める必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	国や近隣市の動向を注視しながら、子ども家庭センターの設置を検討する必要がある。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	社会福祉協議会			
施策	(1)	多様性を認め合う社会環境の整備					
取組	様々な相談事業の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容	42 女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。					
	指標	心配ごと相談の相談件数					
D	指標実績	45件	46件	65件	80件	85件	
	施策の実績	<p>心配ごと相談は、週5日(火曜日から土曜日、予約不要)開催し、相談しやすい体制をとっている。子どもの生活相談は、障害のない子どもに関する相談など、あんステップの対象とならない相談があるため、引き続き継続している。いずれの相談窓口も必要に応じて各種相談窓口や専門職と連携し解決を助ける役割や、相談ができる場として相談者の悩みを整理する支援の場となっている。</p> <p>相談しやすい体制をとるため、心配ごと相談は週5日(火曜日から土曜日、予約不要)を開催している。相談ができる場として相談者の悩みを聞き、問題を整理、支援の場となっており、必要に応じて各種専門相談窓口を紹介したり、専門職と連携して解決を図る役割を果たしている。</p> <p>相談しやすい体制をとるため、心配ごと相談は週5日(火曜日から土曜日、予約不要)を開催している。相談ができる場として相談者の悩みを聞き、問題を整理する支援の場となっており、必要に応じて各種専門相談窓口を紹介したり、専門職と連携して解決を図る役割を果たしている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症のまん延のために就職活動が思うとおりにできず、自宅にいる時間が増えて家族関係が悪くなった、などの相談があったほか、障がいをもつ子どもの将来への不安についての親からの相談などがあつた。以前ここで話を聞いてもらったことで気持ちが軽くなったので再度来た、という相談者もいた。</p> <p>予約不要で週5日開催し、相談しやすい体制をとっている。また、相談員を対象に、傾聴技術や障害のある方への対応方法などについて研修の場を設け、資質向上を図った。ここで悩みを聞いてもらうことで救われているという再訪者もいるが、専門機関につなぐことで解決に至るケースも多々ある。</p>					

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	週5日開催し予約不要であることから、相談者が気軽に来訪しやすい相談所となっている。解決や助言を求める相談者には、必要に応じて専門機関へつないでいるが、自分の話を傾聴してもらうことで満足される相談者も多い。相談件数は年々増加しているが、新規相談者の数は減少傾向にある。						
C	総評から見えてきた課題	多様な相談者と複雑化する相談内容に対応できる相談員の養成、及びつなぎ先となる機関の情報集約が必要である。傾聴技術のニーズも高い。また、今後も心配ごと相談所の存在をPRする機会を増やし、どこに相談したらよいかわからない悩みを抱えている人に情報が届きやすい体制づくりをさらに進めていく必要がある。					
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A	本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
	(継続の場合) R6~10に実行していく具体的な施策方針	相談員の資質向上のための研修を継続し、適切な相談対応と、専門機関との連携を深める。悩み事に応じた専門相談窓口について情報収集を継続する。また、広報紙や会議の場等での心配ごと相談所のPRの機会を増やし、さらなる周知を図る。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民協働課			
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	43 DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVIに関する知識の普及を進める。					
	指標	DVの啓発回数					5回
	指標実績	9回	7回	5回	6回	7回	
D	施策の実績	<p>① H30.6.7 「新しい私」発見講座 男女共同参画の講義でDVIについて講話し、DVミニパンフ配布</p> <p>② H30.6.23 男女共同参画週間イベント会場でDVミニパンフ配布</p> <p>③ H30.10.7 安城福祉まつりにて国際ソロプチミストがDVミニパンフを配布</p> <p>④ H30.10.10 DV職員研修実施</p> <p>⑤ H30.10.28 男女共同参画月間イベント会場でDVミニパンフ配布</p> <p>⑥ H30.10.29 男性へのDV相談カードを各公共施設へ配布</p> <p>⑦ H31.2.15 さんかくセミナーにてDVミニパンフを配布</p> <p>⑧ H31.2.23 サテライトセミナーにてDVミニパンフを配布</p> <p>⑨ 随時 公共施設のトイレ等にDVミニパンフ及び男性相談窓口カード(県より配布)を設置</p>					
		<p>①「新しい私」発見講座 男女共同参画の講義でDVIについて講話し、DVミニパンフ配布</p> <p>②男女共同参画週間イベント会場でDVミニパンフ配布</p> <p>③DV職員研修実施</p> <p>④男女共同参画月間イベント会場でDVミニパンフ配布</p> <p>⑤男女共同参画セミナーにてDVミニパンフを配布</p> <p>⑥公共施設のトイレ等にDVミニパンフ及び男性相談窓口カード(県より配布)を設置</p> <p>⑦中学3年生にデートDVなどの内容のリーフレットを配布</p>	<p>①エンパワーメント発見講座 男女共同参画の講義でDVIについて講話し、DVミニパンフ配布</p> <p>②DV職員研修実施</p> <p>③公共施設のトイレ等にDVミニパンフ及び男性相談窓口カード(県より配布)を設置</p> <p>④中学3年生にデートDVなどの内容のリーフレットを配布</p> <p>⑤市公式ウェブサイトで啓発</p>	<p>①エンパワーメント講座でDV等の内容の男女共同参画パンフレットを配布</p> <p>②DV職員研修実施</p> <p>③公共施設のトイレ等にDVミニパンフ(国際ソロプチミスト安城寄贈)及び男性相談窓口カード(県より配布)を設置</p> <p>④中学3年生にデートDV等の内容のリーフレットを配布</p> <p>⑤市公式ウェブサイトで啓発</p> <p>⑥広報あんじょう11月号で啓発</p>	<p>①エンパワーメント講座でDV等の内容の男女共同参画パンフレットを配布</p> <p>②DV職員研修実施</p> <p>③公共施設のトイレ等にDVミニパンフ(国際ソロプチミスト安城寄贈)及び男性相談窓口カード(県より配布)を設置</p> <p>④中学3年生にデートDV等の内容のリーフレットを配布</p> <p>⑤市公式ウェブサイトで啓発</p> <p>⑥広報あんじょう11月号で啓発</p> <p>⑦男女共同参画サテライトセミナーでDVIについて講演会を実施</p>		

第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	中学3年生や市公式ウェブサイト、及び講座等で広く啓発することができた。公共施設のトイレにミニパンフを配置し、当事者の方でも取りやすい環境で相談窓口の情報提供ができた。					
総評から見えてきた課題	当事者の方への情報提供から相談につながっているか把握しきれていない。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	継続(現状維持)
〈継続の場合〉R6～10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVIに関する知識の普及を進める。	

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	子育て支援課				
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 指 標	43	DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVIに関する知識の普及を進める。					
		市内21小学校 (全新1年生保護者)					
D 指 標 実 績	DV啓発人数						
	指標実績	21小学校	21小学校	21小学校	21小学校	21小学校	
D 施 策 の 実 績	指標実績	31年1月～2月の間に開催される小学校入学説明会において虐待について啓発した。	小学校入学説明会において冊子を使った啓発を行った。	冊子を市内21小学校の全新1年生保護者に配布した。	冊子を市内21小学校の全新1年生保護者に配布した。	冊子を市内21小学校の全新1年生等の保護者に配布した。	

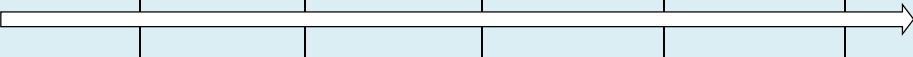
第4次プラン(H30～R5)の総括

総評	毎年、配布するパンフレットの内容を課内で検討し、啓発に努めることができた。					
C 総評から見えてきた課題	DV相談については、外国人の場合もあるため、外国人向けの啓発を検討する必要がある。また、担当課を子育て支援課から市民協働課に変更する必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6～10に実行していく具体的な施策方針	担当課を子育て支援課から市民協働課へ変更する必要がある。広く啓発するための方法を検討する必要がある。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民協働課			
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	DVに関する相談対応の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	44 DV被害者の早期対応を行う。					
	指標						50.6%
D	指標実績	—	—	—	—	—	
	施策の実績	DV庁内会議を開き、市民協働課、市民安全課、市民課（相談室含む）、経営管理課でDV相談体制について協議した。	DV庁内会議を開き、経営管理課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談体制について協議した。	DV庁内会議を開き、市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有した。	DV庁内会議を開き、市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有した。	DV庁内会議を開き、市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	庁内でDV被害者への対応を情報共有できた。						
C 総評から見えてきた課題	DV被害者が相談できるような対策をとる必要がある。						
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					廃止	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	「5(1)多様性を認め合う社会環境の整備 No.42様々な相談事業の実施」で実施するDV庁内会議で情報共有するため、No.42と統合する。						

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民相談係			
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	DVに関する相談対応の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	44 DV被害者の早期対応を行う。					
	指標	DVに関する相談件数					
D	指標実績	3件	0件	2件	3件	7件 (11月末現在)	
	施策の実績	広報での相談窓口の周知12回、ウェブサイトでの周知、相談窓口一覧表(紙)の配布	広報での相談窓口の周知12回、ウェブサイトでの周知、相談窓口一覧表(紙)の配布	広報での相談窓口の周知12回、ウェブサイトでの周知、相談窓口一覧表(紙)を配布した。	広報あんじょう(毎月掲載)、市ウェブサイト、相談窓口一覧表の配布により、相談窓口開設に係る案内を行った。	広報あんじょう(毎月掲載)、市ウェブサイト、相談窓口一覧表の配布により、相談窓口開設に係る案内を行った。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	主に女性相談の実施により、DV被害者が相談しやすい環境を整えて、適切に対応できた。						
C 総評から見えてきた課題	引き続き、様々な方法で市民への周知を図る必要がある。						
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)	
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、定期的に女性相談を実施し、DV相談に対応する。						

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶		子育て支援課			
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	DVに関する相談対応の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組内容的な 指標	44	DV被害者の早期対応を行う。					
	DVIに関する相談件数	→					
指標実績		21件	10件	6件	4件	5件	
D 施策の実績	DV相談については対応できている	庁内会議を通じて連携を図っているが相談先の明確化については母子は子育て支援課、高齢者については高齢福祉課、障害者については障害福祉課、その他は社会福祉課での取り扱いとした。		新型コロナウイルスの影響により書面開催となったが、各課におけるコロナ禍のDV相談状況や対応状況の共有を図ることができた。	各課におけるコロナ禍のDV相談状況や対応状況の共有を図ることができた。		庁内会議を通じて各課の対応状況や課題等の共有を図ることができた。

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	庁内会議を通じて関係各課との情報共有等を図り、早期対応できるよう努めた。						
C 総評から見えてきた課題	DV相談があった場合に、関係各課との協力が不可欠であるが、職員により対応が異なる場合が見受けられた。						
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 						A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)		
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	DV被害者の早期対応を円滑に行えるよう、関係各課と調整を図る必要がある。						

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	子育て支援課				
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	被害者支援にあたっての関係機関との連携強化と適切な一時保護の実施						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 指 標	45	女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と横断的に連携をとり、被害者を適切に一時保護する。					
D 指 標 実 績	一時保護件数	1件	2件	2件	0件	3件	
	施策の実績	本人の意思により、一時保護を行った。	被害者の状況を確認しながら身体の安全を確保することができた。	被害者の状況を確認しながら身体の安全を確保することができた。	被害者を一時保護するケースがなかった。	被害者の状況を確認しながら身体の安全を確保することができた。	

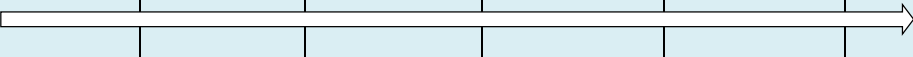
第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	被害者の状況や本人の意思を確認しながら、被害者を適切に一時保護することができた。		
C 総評から見えてきた課題	連携が必要な部署が多いため、関係部署と事務手続きが円滑に進むよう調整を図る必要がある。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 		A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 		継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	これまで以上に迅速に対応するため、職員のスキルアップを図る。関係部署との手続きが円滑に進むよう関係部署に働きかけていく。		

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民協働課			
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	被害者の自立支援						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	46 DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。					
	指標						
D	指標実績	—	—	—	—	—	—
	施策の実績	今年度は、単身者からの相談がなかったため、市民協働課での対応実績はなかった。	住民基本台帳の閲覧制限についての相談あり。	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を書面開催した。	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を開催した。	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を開催した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	庁内でDV被害者への対応を情報共有できた。		
総評から見えてきた課題	DV被害者が被害を受けても相談できない現状も考えられるため、DV被害者の支援のあり方を考える必要がある。		
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 	A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 	廃止
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	「5(1)多様性を認め合う社会環境の整備 No.42様々な相談事業の実施」で実施するDV庁内会議で情報共有するため、No.42と統合する。	

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民相談係			
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	被害者の自立支援						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容	46 DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。					
	指標	DVに関する相談件数					—
D	指標実績	—	—	—	—	—	
	施策の実績	市民相談（開庁日）、女性相談（年間51回）、法律相談（年間83回）など支援できる相談業務を実施した。	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施した。	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施した。	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施した。	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施した。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	市民相談、女性相談、法律相談等、DV被害者を支援できる相談業務を実施できた。					
総評から見えてきた課題	市民相談では、状況・内容によっては子育て支援課、市民協働課、福祉部局各課に引き継ぎ対応を依頼することがあるため、関係各課との連携を一層強化する必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				B	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)
〈継続の場合〉R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、市民相談、女性相談、法律相談等、DV被害者を支援できる相談業務を実施する。				

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	子育て支援課				
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	被害者の自立支援						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P 取組 指 標	46	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。					
		関係部署とのコア会議回数					
指標実績		0件	0件	0件	0件	0件	
D 施策 の実 績		庁内連絡会を実施しており、各担当と連携をしている	コア会議の回数はありませんが、庁内が連携できるように会議を実施している。	コア会議の回数はありませんが、庁内が連携できるように会議を実施している。	コア会議の回数はなかったが、庁内が連携できるように会議を実施している。	コア会議の回数はなかったが、庁内が連携できるように会議を実施している。	

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	定期的な庁内連絡会を実施することで、庁内での連携を図っており、コア会議を実施するに至らなかった。					
C 総評から見えてきた課題	DV被害者が自立した生活を送るための支援は、子育て支援課だけでは解決できない。このため、重層的支援制度などを活用した支援や担当課、指標などの見直しが必要。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 					B

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					廃止
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	子育て支援課の目標としては廃止とし、指標の見直しなどを検討すべき。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民協働課			
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取具 組体的 内容な	47 女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。					
	指標	—市職員向けDV研修の実施回数					1回
D	指標実績	1回	1回	1回	1回	1回	
	施策の実績	10月10日に全課1名程度(60名)が参加してDV職員研修を実施。講師:増井 さとみ氏(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA)	DV職員研修を実施。(55名参加)講師:加藤佐紀子氏(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA)	DV職員研修を実施。(52人参加)講師:具 ゆり氏(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA)	DV職員研修を実施。(53人参加)講師:具 ゆり氏(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA)	DV職員研修参加者(52人参加)講師:鈴木尚子氏(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA)	


第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	職員の研修を毎年1回実施できた。					
C 総評から見えてきた課題	教職員への研修が実施できてない。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成(施策自体の達成) 					A

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

A 本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 					継続(現状維持)
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	引き続き、女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。					

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	担当所属	市民課			
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	47 女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。					
	指標						—
D	指標実績	—	—	—	—	—	—
	施策の実績	説明会を実施した。(1回)	説明会を実施した。(1回)	説明会を実施した。(1回)	説明会を実施した。(1回)	説明会を実施した。(1回)	説明会を実施した。(1回)


第4次プラン(H30～R5)の総括

	総評	市職員への研修を定期的に行い、知識の普及と二次被害の防止のための関係課との連携及び個人情報保護の取り扱いの徹底を行った。				
C	総評から見えてきた課題	DV被害に関する知識や情報保護の必要性の認識はされているが、業務が複雑化していく中で、新たに発生した業務等においても被害者保護が十分にされるよう徹底していく必要がある。				
	施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成: (施策自体の達成) 				B

次期プラン(R6～10)への施策の方向性

	本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 			継続(現状維持)
A	〈継続の場合〉R6～10に実行していく具体的な施策方針	被害者を保護できる体制づくり及び個人情報の保護を徹底するための市職員への研修を行う。			

第4次男女共同参画プラン 施策状況調査シート

基本目標	5	人権の尊重とDVの根絶	子育て支援課				
施策	(2)	DVの啓発と早期対応					
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
年度	No	H30	R1	R2	R3	R4	R5
P	取組内容的な	47 女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。					
	指標	市職員向けDV研修の参加者数					
	指標実績	31人	55人	52人	53人	52人	
D	施策の実績	社会福祉事務所新任研修において業務を説明したため、2018年度は実施しなかったが、市民協働課でDV職員研修を実施した。		外部講師を招き、DVに対する認識、理解をすることができた。平成30年度まで行っていた社会福祉事務所新任研修は令和元年度は実施を見送ったため、全課対象の市職員向けDV研修を市民協働課と共同開催し、職員のDV認識に努めた。	外部講師を招き、DVの基礎知識やDV被害者への対応等について理解を深めることができた。	外部講師を招き、DVの基礎知識やDV被害者への対応等について理解を深めることができた。	外部講師を招き、DVの基礎知識やDV被害者への対応等について理解を深めることができた。
							

第4次プラン(H30~R5)の総括

総評	DVの基礎知識やDV被害者への対応等について理解を深めることができた。					
総評から見えてきた課題	基礎的知識のほかに、具体的な対応について理解を深める必要がある。また、啓発部分については担当課を子育て支援課から市民協働課に変更する必要がある。					
施策の進捗度	<ul style="list-style-type: none"> ・A: 順調に進捗している ・B: 概ね順調だが、改善の余地がある ・C: 遅れている(大幅な改善が必要) ・達成:(施策自体の達成) 				A	

次期プラン(R6~10)への施策の方向性

本施策の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・完了: 現行プランで完了する ・継続(拡充): 現行プランよりも充実させる ・継続(現状維持): 現行プランと同程度の規模で継続 ・継続(縮小): 現行プランよりも縮小して継続 ・廃止 				継続(現状維持)	
〈継続の場合〉 R6~10に実行していく具体的な施策方針	担当課を子育て支援課から市民協働課へ変更する必要がある。また、外部講師を招いて、DVの基礎知識やDV被害者への対応等のほかに、個人情報の取り扱いについて研修を行う。					